

第161号



# お茶の水女子大学学報

平成 6 年 11 月 1 日

お茶の水女子大学庶務課

## 目 次

◇関係法令 .....	1
◇人 事 .....	2
◇学 内 規 則 .....	10
○お茶の水女子大学理学部の講座及び学 科目並びに授業科目に関する規程の一 部を改正する規程 .....	10
○お茶の水女子大学外国人教員の任期に 関する規程 .....	17
○お茶の水女子大学教官選考規程の全部 を改正する規程 .....	18
○お茶の水女子大学国際学生宿舎規程 .....	19
○お茶の水女子大学学寮規程の一部を改 正する規程 .....	24
○お茶の水女子大学文教育学部の講座及 び学科目並びに授業科目に関する規程 の一部を改正する規程 .....	25
○お茶の水女子大学生活科学部の講座及 び学科目並びに授業科目に関する規程 の一部を改正する規程 .....	41
○お茶の水女子大学附属高等学校規程の 一部を改正する規程 .....	45
◇各種委員会委員 .....	46
◇新任部局長紹介 .....	57
◇学 事 .....	58
○平成 6 年 9 月卒業式及び学位記授与に ついて .....	58

○平成 7 年度お茶の水女子大学大学院人 文科学研究科(修士課程)学生募集要項 .....	59
--	----

## ◇諸 報

○海外渡航について .....	66
○研修について .....	68
○健康診断について .....	69

◇日 誌 .....	70
------------	----

## 関係法令

### 【政 令】

- 勤労者財産形成促進法施行令の一部を改正する政令（政令第289号、9月9日官報）
- 行政手続法の施行期日を定める政令（政令第302号、9月19日官報）
- 行政手続法及び行政手続法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令（政令第303号、9月19日官報）
- 勤労者財産形成促進法施行令の一部を改正する政令（政令第320号、9月30日官報）
- 日本体育・学校健康センター法施行令の一部を改正する政令（政令第322号、9月30日官報）

### 【省 令】

- 一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する法律の施行に伴う文部省関係省令の整理に関する省令（文部省令第35号、8月30日官報）
- 文部省聴聞手続規則（文部省令第36号、9月21日官報）
- 行政手続法及び行政手続法の施行に伴う関係法律

の整備に関する法律の施行に伴う文部省関係省令  
の整備に関する省令（文部省令第37号、9月21日  
官報）

○文部省設置法施行規則の一部を改正する省令（文  
部省令第39号、9月30日官報）

○国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令  
（文部省令第40号、9月30日官報）

○国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に  
関する省令の一部を改正する省令（文部省令第41  
号、9月30日官報）

○国家公務員等共済組合法施行規則の一部を改正す  
る省令（大蔵省令第101号、9月30日官報）

### 【規 則】

○人事院規則9-30（特殊勤務手当）の一部を改正  
する人事院規則（人事院9-30-25、9月2日官  
報）

○行政手続法（平成5年法律第88号）及び行政手続  
法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律（平  
成5年法律第89号）の施行に伴う関係人事院規則  
の整備に関する人事院規則（人事院1-20、9月

19日官報）

○人事院規則9-17（俸給の特別調整額）の一部を  
改正する人事院規則（人事院9-17-49、9月30  
日官報）

○人事院規則16-0（職員の災害補償）の一部を改  
正する人事院規則（人事院16-0-16、9月30日  
官報）

○人事院規則16-3（災害を受けた職員の福祉施設）  
の一部を改正する人事院規則（人事院16-3-20、  
9月30日官報）

○人事院規則16-4（補償及び福祉施設の実施）の  
一部を改正する人事院規則（人事院16-4-11、  
9月30日官報）

○人事院規則17-0（管理職員等の範囲）の一部を  
改正する人事院規則（人事院17-0-35、9月30  
日官報）

### 【告 示】

○平成7年度科学研究費補助金の各種目の計画調書  
の提出期間等を定める件（文部省告示第129号、  
9月1日官報）

## 人 事

### ◎常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異動区分	異動前の所属・官職
6. 8. 30	大 橋 昌 子	生活環境研究センター長事務代 理（命）	公の名称	（生活環境研究センター教 授）
6. 8. 31	永 井 悟	辞職承認	退 職	庶務課
6. 9. 5	大 橋 昌 子	生活環境研究センター長事務代 理（免）	公の名称	（生活環境研究センター教 授）
6. 9. 8	窪 添 慶 文	文教育学部長事務代理（命）	〃	（文教育学部教授）
6. 9. 12	窪 添 慶 文	文教育学部長事務代理（免）	〃	〃
6. 10. 1	平 田 悦 朗	教授（大学院人文科学研究科）	昇 任	助教授（大学院人文科学研 究科）
〃	杉 田 孝 夫	助教授（生活科学部）	〃	講師（生活科学部）
〃	田 村 耕 造	大臣官房総務課文書管理班	転 任	会計課
〃	窪 添 慶 文	文教育学部長・評議員 併任期間8. 9. 30まで	併 任	（文教育学部教授）

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異動区分	異動前の所属・官職
6. 10. 1	小 林 彰 夫	生活科学部長・評議員 併任期間8. 9. 30まで	併 任	(生活科学部教授)
"	小 林 彰 夫	家政学部長・評議員 併任期間8. 3. 31まで	"	"
"	田 中 眞砂子	評議員 併任期間7. 9. 30まで	"	(文教育学部教授)
"	平 野 由紀子	"	"	"
"	板 倉 壽 郎	評議員 併任期間8. 9. 30まで	"	(生活科学部教授)
"	富 田 守	"	"	"
"	水 野 悌 一	"	"	"
"	杉 田 孝 夫	助教授(家政学部) 併任期間8. 3. 31まで	"	(生活科学部助教授)
"	窪 添 慶 文	評議員併任解除	併任解除	(文教育学部教授)
"	石 川 宏	"	"	"
"	杉 田 孝 夫	講師(家政学部)併任解除	"	(生活科学部講師)
6. 10. 4	大 橋 昌 子	生活環境研究センター長事務代理(命)	公の名称	(生活環境研究センター教授)
6. 10. 17	大 橋 昌 子	生活環境研究センター長事務代理(免)	"	"

## ◎非常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
6. 9. 1	齋 藤 いづみ	事務補佐員(附属図書館)	6. 9. 1～7. 3. 31	
"	泉 慶 子	教務補佐員(文教育学部)	"	
6. 9. 12	井 上 喜代子	事務補佐員(理学部)	6. 9. 12～7. 3. 31	
6. 9. 16	田 中 泉	事務補佐員(大学院人間文化研究科)	6. 9. 16～7. 3. 31	
6. 9. 30	伊 藤 江 美	辞職承認		学務課
"	長 峯 京 子	"		文教育学部
"	藤 田 志 摩	"		"
"	青 木 みのり	"		生活科学部
"	竹 澤 嘉代子	"		"
6. 10. 1	太 田 千恵子	事務補佐員(学務課)	6. 10. 1～7. 3. 30	
"	橋 野 朋 子	事務補佐員(文教育学部)	6. 10. 1～7. 3. 31	
"	笠 原 光 子	教務補佐員(生活科学部)	"	
"	屋 宮 良 重	"	6. 10. 1～6. 12. 31	

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
6. 10. 1	那 須 千 鶴	ティーチング・アシスタント (大学院人間文化研究科)	6. 10. 1～7. 2.28	
〃	村 尾 美 緒	〃	〃	
〃	早 川 文 代	〃	〃	
〃	高見澤 恵 子	〃	〃	
〃	清 宮 麻希子	〃	〃	
〃	游 珮 芸	〃	〃	
〃	河 村 昌 子	〃	〃	
〃	佐 藤 志 保	〃	〃	
〃	佐 藤 裕紀子	〃	〃	
〃	瀬戸川 順 子	〃	〃	
〃	大久保 尚 子	〃	〃	
〃	中 西 祐 子	〃	〃	
〃	佐 藤 真理子	〃	〃	
〃	徳 井 千 里	〃	〃	
〃	小 塩 さとみ	〃	〃	
〃	安 恵 慶	〃	〃	
〃	松 下 みどり	〃	〃	
〃	三 宅 紀 子	〃	〃	
〃	長 妻 由 香	任用更新	6. 10. 1～7. 3.31	教務補佐員 (文教育学部)
〃	塩 谷 優 香	〃	6. 10. 1～6. 12.31	事務補佐員 (理学部)
〃	山 内 佳 代	〃	6. 10. 1～6. 11.30	教務補佐員 (生活科学部)
6. 10. 17	神 林 秀	教務補佐員 (理学部)	6. 10.17～6. 12.31	
6. 10. 24	岡 本 富 美	事務補佐員 (学生課)	6. 10.24～7. 3.31	

## ◎非常勤講師

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
6. 9. 1	佐 野 潤 子	講師 (附属中学校)	6. 9. 1～7. 3.31	
6. 9. 9	ブリッチャード・ ジェイムズ	辞職承認		附属中学校
〃	〃	〃		附属高等学校
6. 9. 19	スティーブン・ マイケル・パワー	講師 (附属高等学校)	6. 9. 19～7. 3.31	

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
6. 9. 26	フィリップ・ ギュートリッヒ	講師（理学部）	6. 9.26～6. 9.30	
6. 9. 30	金 子 彰	辞職承認		文教育学部
6. 10. 1	山 梨 絵美子	講師（文教育学部）	6. 10. 1～7. 3.31	東京国立文化財研 究所 主任研究官
〃	広 渡 清 吾	〃	〃	東京大学教授
〃	持 田 信 樹	〃	〃	東京大学助教授
〃	大 野 芳 材	〃	〃	青山学院女子短期 大学講師
〃	庄 司 洋 子	〃	〃	立教大学教授
〃	岡 村 多佳夫	〃	〃	東京造形大学助教授
〃	羽 田 正	〃	〃	東京大学助教授
〃	鶴 間 和 幸	〃	〃	茨城大学教授
〃	小 島 道 裕	〃	〃	国立歴史民俗博物 館助教授
〃	石 川 寛	〃	〃	
〃	栗 田 尚 弥	〃	〃	
〃	高 綱 正 子	〃	〃	
〃	斎 藤 功	〃	〃	筑波大学教授
〃	山 本 茂	〃	〃	埼玉大学教授
〃	富 田 和 昭	〃	〃	横浜国立大学教授
〃	大 場 達 之	〃	〃	
〃	溝 尾 良 隆	〃	〃	立教大学教授
〃	生井澤 幸 子	〃	〃	川村学園女子大学 助教授
〃	白 藤 禮 幸	〃	〃	東京大学教授
〃	羽 鳥 百合子	〃	〃	川村学園女子大学 教授
〃	福 田 正 恒	〃	〃	附属中学校教諭
〃	下 村 哲 夫	〃	〃	筑波大学教授
〃	小 沢 周 三	〃	〃	東京外国語大学教授
〃	松 田 千枝子	〃	〃	作新学院大学助教授
〃	岡 崎 友 典	〃	〃	放送大学学園助教授
〃	松 平 信 久	〃	〃	立教大学教授
〃	横 山 善 実	〃	〃	附属小学校教諭
〃	佐々木 正 人	〃	〃	東京大学助教授

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
6. 10. 1	相 川 充	講師(文教育学部)	6. 10. 1～7. 3. 31	東京学芸大学助教授
"	箕 浦 康 子	"	"	東京大学教授
"	秋 田 喜代美	"	"	立教大学講師
"	勝 浦 範 子	"	"	
"	石 井 徹	"	"	立教大学教授
"	山 本 義 春	"	"	東京大学講師
"	沢 井 史 穂	"	"	東京大学助手
"	大 道 等	"	"	国際武道大学助教授
"	西 原 和	"	"	花柳和舞踊研究所
"	厚 木 義 松	"	"	
"	柳 沼 輝 子	"	"	武蔵野音楽大学講師
"	中 村 泉	"	"	帝京大学助教授
"	糟 谷 里 美	"	"	
"	渡 辺 保	"	"	淑徳短期大学教授
"	近 江 源太郎	"	"	女子美術大学教授
"	林 恒 明	"	"	日本体育会日体幼稚園長付
"	岡 部 真一郎	"	"	
"	岡 本 美智子	"	"	桐朋学園大学教授
"	村 上 征 勝	"	"	統計数理研究所教授
"	並 木 頼 寿	"	"	東京大学助教授
"	山 口 静 子	"	"	味の素(株)食品総合研究所主任研究員
"	高 野 禎 子	"	"	湘南国際女子短期大学助教授
"	石 川 寛 子	"	"	武蔵野女子大学教授
"	老 川 慶 喜	"	"	立教大学教授
"	塩 谷 實	"	"	明治生命保険相互会社企業保険アクチュアリー
"	熊取谷 哲 夫	講師(大学院人文科学研究科)	"	城西国際大学教授
"	吉 田 英 信	講師(理学部)	"	千葉大学教授
"	福 田 拓 生	"	"	東京工業大学教授
"	木 村 弘 信	"	"	東京大学助教授
"	清 田 正 夫	"	"	東京医科歯科大学助教授
"	芥 川 一 雄	"	"	静岡大学助教授

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
6. 10. 1	宮 島 静 雄	講師 (理学部)	6. 10. 1 ~ 7. 3. 31	東京理科大学教授
"	寺 杣 友 秀	"	"	東京都立大学助教授
"	野 尻 伸 一	"	"	防衛大学校助手
"	香 取 眞 理	"	"	中央大学助教授
"	近 桂 一 郎	"	"	早稲田大学教授
"	林 利 彦	"	"	東京大学教授
"	柿 沼 勝 己	"	"	東京工業大学教授
"	加 藤 礼 三	"	"	東京大学助教授
"	只 野 金 一	"	"	慶應義塾大学教授
"	横 山 晴 彦	"	"	横浜市立大学助教授
"	佐 藤 倫 子	"	"	(株)東芝研究開発センター研究主務
"	川 瀬 晃	"	"	セイコー電子工業(株)顧問
"	守 隆 夫	"	"	東京大学教授
"	池 内 達 郎	"	"	東京医科歯科大学助教授
"	上 田 太 郎	"	"	通商産業省工業技術院主任研究官
"	溝 口 元	"	"	立正大学助教授
"	今 市 涼 子	"	"	玉川大学助教授
"	武 久 慎	"	"	慶應義塾大学教授
"	太 田 成 男	"	"	日本医科大学教授
"	石 田 克 美	"	"	帝京大学講師
"	佐 藤 道 幸	"	"	附属中学校教諭
"	寶 来 正 子	"	"	東京工業大学助教授
"	西 原 清 一	"	"	筑波大学教授
"	清 木 康	"	"	筑波大学助教授
"	鷹 野 澄	"	"	東京大学講師
"	三 宅 洋 一	"	"	千葉大学教授
"	土 屋 守 正	"	"	東海大学助教授
"	西 沢 清 子	"	"	城西大学助教授
"	大 矢 雅 則	"	"	東京理科大学教授
"	渡 辺 昇	"	"	東京理科大学講師
"	橋 本 義 武	"	"	

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
6. 10. 1	石 川 寛 子	講師（生活科学部）	6. 10. 1～7. 3. 31	武蔵野女子大学教授
〃	小野寺 義幸	〃	〃	
〃	河 内 真紀子	〃	〃	通商産業省工業技術院主任研究官
〃	佐 藤 俊	〃	〃	筑波大学助教授
〃	藤 本 大三郎	〃	〃	東京農工大学教授
〃	大 塚 柳太郎	〃	〃	東京大学教授
〃	真 家 和 生	〃	〃	大妻女子大学講師
〃	近 藤 昊	〃	〃	(勘)東京都老人総合研究所主任研究員
〃	山 本 啓 一	〃	〃	創価大学教授
〃	仲 真紀子	〃	〃	千葉大学助教授
〃	町 沢 静 夫	〃	〃	
〃	阿 藤 誠	〃	〃	厚生省人口問題研究所長
〃	在 塚 礼 子	〃	〃	埼玉大学助教授
〃	内 野 正 幸	〃	〃	筑波大学助教授
〃	市 川 雅 教	講師（家政学部）	〃	東京外国語大学助教授
〃	降 旗 勝 信	〃	〃	東京学芸大学教授
〃	今 井 和 子	〃	〃	
〃	大 貫 敬 一	〃	〃	共立女子大学助教授
〃	山 中 英 明	〃	〃	東京水産大学教授
〃	山 崎 眞 狩	〃	〃	東京大学教授
〃	沖 谷 明 紘	〃	〃	日本獣医畜産大学教授
〃	山 口 静 子	〃	〃	味の素(株)食品総合研究所主任研究員
〃	前 田 美 穂	〃	〃	日本医科大学講師
〃	伊 藤 夏 子	〃	〃	
〃	脇 田 美 佳	〃	〃	埼玉純真女子短期大学講師
〃	梶 原 裕	〃	〃	国立公衆衛生院環境生理室長
〃	清 水 裕 子	〃	〃	宇都宮大学助教授
〃	丸 山 伸 彦	〃	〃	国立歴史民俗博物館助手



発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
6. 10. 1	増 田 美 子	講師（家政学部）	6. 10. 1～7. 3.31	学習院女子短期大学教授
〃	坂 本 満	〃	〃	聖徳大学教授
〃	宮 坂 啓 象	〃	〃	新潟職業能力開発短期大学校長
〃	細 井 雄 介	〃	〃	聖心女子大学教授
〃	菅 原 珠 子	〃	〃	学習院女子短期大学教授
〃	岡 崎 哲 二	〃	〃	東京大学助教授
〃	井 上 勝 也	〃	〃	筑波大学助教授
〃	大 塚 柳太郎	〃	〃	東京大学教授
〃	瓜 生 武	〃	〃	
〃	スティーブン・マイケル・パワー	講師（附属中学校）	〃	
〃	丸 本 百合子	講師（女性文化研究センター）	〃	同愛記念病院医師
〃	甘 利 俊 一	講師（大学院人間文化研究科）	〃	東京大学教授
〃	ケイト・ワイルドマン・ナカイ	〃	〃	上智大学教授
6. 10. 15	クリスティーン・エリカ・アルバート	講師（附属中学校）	〃	

○平成 6 年お茶の水女子大学規則第12号

お茶の水女子大学理学部の講座及び学科目並びに授業科目に関する規程の一部を改正する規程を次のとおり定める。

平成 6 年 7 月 20 日

お茶の水女子大学長 太 田 次 郎

お茶の水女子大学理学部の講座及び学科目並びに授業科目に関する規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学理学部の講座及び学科目並びに授業科目に関する規程（平成 4 年 3 月 25 日制定）の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

お茶の水女子大学理学部の講座及び授業科目に関する規程

第 1 条を次のとおり改める。

（講 座）

第 1 条 お茶の水女子大学理学部の学科又は学部置かれる講座については、国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令（昭和 39 年文部省令第 3 号）の定めるところによる。

第 2 条第 2 項を削る。

別表第 1 から別表第 7 を次のように改める。

（別紙のとおり）

附 則

この規程は、平成 6 年 7 月 20 日から施行し、平成 6 年 6 月 24 日から適用する。

— 11 —

別表第2 物 理 学 科

#物理学Ⅰ	2
#物理学Ⅱ	2
#一般物理学実験	2

別表第3 化 学 科

講座	△ 構 造 化 学 講 座	△ 反 応 化 学 講 座
授 業 科 目	基礎物理化学 4	反応物理化学 2
	構造物理化学 2	計算化学 2
	分子分光学 2	分子統計力学 2
	物性物理化学 2	反応無機化学 2
	結晶化学 2	反応有機化学 2
	分子集合体化学 2	精密有機合成化学 2
	基礎無機化学 4	固体化学 2
	構造無機化学 2	生体分子反応学 2
	構造有機化学 4	生体分子機能・認識学 2
	構造生化学 4	分子生物化学 2
	生物物理化学 2	応用化学 2
	定量分析化学・化学平衡論 4	実験値解析法 2
	放射化学 2	環境情報化学 2
	機能性材料化学・ホストゲスト化学 2	機器測定法 2
	高分子化学 2	物理化学実験 3
	物理化学実験 3	無機化学実験 2
	無機化学実験 2	有機化学実験 3
	有機化学実験 3	生物化学実験 3
	生物化学実験 3	分析化学実験 3
	分析化学実験 3	化学基礎実験 2
	化学基礎実験 2	基本化学実験 2
	基本化学実験 2	物理化学特別講義Ⅰ 2
	物理化学特別講義Ⅰ 2	物理化学特別講義Ⅱ 2
	物理化学特別講義Ⅱ 2	無機化学特別講義Ⅰ 2
	無機化学特別講義Ⅰ 2	無機化学特別講義Ⅱ 2
	無機化学特別講義Ⅱ 2	有機化学特別講義Ⅰ 2
	有機化学特別講義Ⅰ 2	有機化学特別講義Ⅱ 2
	有機化学特別講義Ⅱ 2	生物化学特別講義Ⅰ 2
	生物化学特別講義Ⅰ 2	生物化学特別講義Ⅱ 2
	生物化学特別講義Ⅱ 2	分析化学特別講義Ⅰ 2
	分析化学特別講義Ⅰ 2	分析化学特別講義Ⅱ 2
	分析化学特別講義Ⅱ 2	構造化学特別講義Ⅰ 2
	構造化学特別講義Ⅰ 2	構造化学特別講義Ⅱ 2
	構造化学特別講義Ⅱ 2	計算機化学講義・演習 3
	計算機化学講義・演習 3	化学特別ゼミ 2
	化学特別ゼミ 2	※基礎化学A 2
	※基礎化学A 2	※基礎化学B 2

授 業 科 目	※基礎化学B	2	基本化学演習 I	2
	基本化学演習 I	2	基本化学演習 II	2
	基本化学演習 II	2	化学演習	4
	化学演習	4	特別研究	12
	特別研究	12		
	#化学 I	2	#化学 I	2
	#化学 II	2	#化学 II	2
	#一般化学実験	2	#一般化学実験	2

別表第4 生物学科

講座	△構造生物学講座	△機能生物学講座
授 業 科 目	基礎遺伝学	分子遺伝学
	進化遺伝学	細胞遺伝学
	細胞生物学	遺伝子工学
	動物系統学	細胞生化学
	発生生物学	細胞情報
	動物発生学	生理化学
	植物形態学	分子細胞生物学
	生物学演習	免疫生物学
	特別研究	動物生理学
	外書講読 I	生物物理学
	外書講読 II	バイオメカニックス
	生物学実習 I	植物生理学
	生物学実習 II	細胞代謝
	基礎遺伝学実習	生体高次機能
	細胞生物学実習	環境応答学
	動物系統学実習	生物学演習
	動物系統学臨海実習	特別研究
	発生生物学実習	外書講読 I
	発生生物学臨海実習	外書講読 II
	植物形態学実習	生物学実習 I
	野外実習	生物学実習 II
	生物学史	植物生理学特別講義 II
	生態学 I	分子遺伝学実習
	生態学 II	細胞生化学実習
	遺伝学特別講義 I	分子細胞生物学実習
	細胞生物学特別講義 I	動物生理学実習

授 業 科 目	動物形態学特別講義Ⅰ	2	動物生理学臨海実習	1
	動物形態学特別講義Ⅱ	2	植物生理学実習	2
	植物形態学特別講義Ⅰ	2	分子細胞生物学演習Ⅰ	2
	植物形態学特別講義Ⅱ	2	分子細胞生物学演習Ⅱ	2
	生物学特別講義Ⅰ～ⅩⅡ	各2	生物学史	1
			遺伝学特別講義Ⅱ	2
			細胞生物学特別講義Ⅱ	2
			動物生理学特別講義Ⅰ	2
			動物生理学特別講義Ⅱ	2
			植物生理学特別講義Ⅰ	2
			生物学特別講義Ⅰ～ⅩⅡ	各2
	※基礎生物学A	2	※基礎生物学A	2
	※基礎生物学B	2	※基礎生物学B	2
	※生物学基礎実験	2	※生物学基礎実験	2
	#生物学Ⅰ	2	#生物学Ⅰ	2
	#生物学Ⅱ	2	#生物学Ⅱ	2

別表第5 情報科学科

講座	△ 情 報 数 理 講 座		△ 情 報 処 理 講 座	
授 業 科 目	線形代数	4	※計算機システム序論	2
	線形代数演習	4	プログラム作成実習	2
	線形代数統論	2	システムプログラミング実習	2
	微分積分学	4	情報科学基礎実験	2
	微分積分学演習	4	情報倫理	2
	部分積分学統論	2	計算モデル論	2
	微分積分学統論演習	2	情報計測論	2
	関数論	2	コンピュータアーキテクチャ	2
	関数論演習	2	並列・分散処理	2
	離散数学	2	コンピュータネットワーク	2
	離散数学演習	2	オペレーティングシステム	2
	※数理基礎論	2	コンパイラ構成論	2
	情報数学	2	データ構造とアルゴリズム	2
	情報数理基礎論	2	言語理論とオートマトン	2
	組み合わせ論	2	形式言語論	2
	グラフ理論	2	プログラミング言語	2
	符号理論	2	自然言語論	2
フーリエ解析とラプラス変換	2	人工知能論	2	

授 業 科 目	微分方程式論	2	コンピュータシミュレーション	2
	※計算基礎論	2	データベースシステム	2
	情報理論	2	データベース設計論	2
	※確率序論	2	コンピュータグラフィックス	2
	確率過程論	2	画像処理論	2
	数理統計学	2	ヒューマンインターフェイス	2
	エントロピー論	2	数値解析	2
	情報解析学	2	数値解析演習	2
	応用解析学	2	自然情報基礎論	4
	情報代数学	2	計算物理学	2
	情報統計学	2	計算化学	2
	情報通信論	2	生態情報論	2
	力学系理論	2	脳神経情報論	2
	量子力学	2	環境情報論	2
	情報科学特別講義Ⅰ～Ⅴ	各2	地球環境論	2
	特別研究	6	情報科学特別講義Ⅵ～Ⅹ	各2
			特別研究	6
			# 情報科学	2
			# 情報処理学	2
			# プログラミング実習	2

別表第6 学 科 外

授 業 科 目	※地球科学概論A	2
	※地球科学概論B	2
	※地球科学概論C	2
	※地球科学概論D	2
	※地球科学概論E	2
	※地学基礎実験	2
	# 地学(天文気象)	2
	# 環境科学	2

別表第7 全学共通科目

授 業 科 目	# 基 礎 ゼ ミ	2
	# 総 合 コ ー ス	2～8

備 考

- △印は、修士講座を示す。
- 授業科目欄の※印を冠するものは、学部共通科目を、#印は、コア科目を示す。



○平成 6 年お茶の水女子大学規則第13号

お茶の水女子大学外国人教員の任期に関する規程を次のとおり定める。

平成 6 年 9 月 29 日

お茶の水女子大学長 太 田 次 郎

お茶の水女子大学外国人教員の任期に関する規程

第 1 条 この規程は、国立又は公立の大学における外国人教員の任用等に関する特別措置法（昭和57年法律第89号）第 2 条第 3 項の規定に基づき、お茶の水女子大学において任用する外国人の教授、助教授及び講師（以下「外国人教員」という。）の任期について定めるものとする。

第 2 条 外国人教員は、任期を定めないで任用することができる。

第 3 条 外国人教員を任期を定めて任用する場合には、その任期は、評議会の議に基づき学長が定める。ただし、この場合において再任を妨げるものではない。

附 則

この規程は、平成 6 年 9 月 29 日から施行する。

○平成 6 年お茶の水女子大学規則第14号

お茶の水女子大学教官選考規程の全部を改正する規程を次のとおり定める。

平成 6 年 9 月 29 日

お茶の水女子大学長 太 田 次 郎

お茶の水女子大学教官選考規程の全部を改正する規程

お茶の水女子大学教官選考規程（昭和28年2月11日制定）の全部を次のように改正する。

第1条 この規程は、お茶の水女子大学（以下「本学」という。）の各学部、各研究科及び各センター（以下「学部等」という。）の教官の採用及び昇任に関する基準並びに手続きに関し、必要な事項を定めるものとする。

第2条 本学の教授、助教授及び講師（常時勤務の者に限る。）の採用並びに昇任については、その所属する学部等の教授会、研究科委員会又は運営委員会において、教官選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設け、その審査を経るものとする。

第3条 各学部の教授会が設置する選考委員会は、学部長を委員長とする次の委員をもって構成するものとする。

- 一 当該学科主任教授又はこれに相当する教授
- 二 当該学科教授1人
- 三 当該学部の近接学科教授2人

2 二学科からなる学部においては、前項第2号の委員を2人とし、同項第3号の委員を1人とすることができる。

第4条 前条第1項第2号及び第3号に定める教授に、選考しようとする専門分野との関係で適任者を得ることができない場合は、教授以外の教官をもって充てることができる。

第5条 第3条第1項第3号に定める選考委員会委員については、教授会において特に必要があると認めるときは、他学部等に所属する近接分野の教授をもって充てることができる。

第6条 第3条第1項各号の委員は、教授会において決定するものとする。

第7条 研究科の研究科委員会又は各センターの運営委員会（以下「研究科委員会等」という。）が設置する選考委員会の構成は、前4条の規定に準じて当該研究科委員会等において別に定めるものとする。

第8条 選考委員会は、別に定める内規に基づき、各候補者の人格、学歴、経歴、研究業績、指導能力及び健康状況等について審査し、本学教官として適任と認められた者2人以内を選考して、教授会又は研究科委員会等へ報告するものとする。

第9条 教授会又は研究科委員会等は、選考委員会のあつた日から1週間を経過した日以降に開催される教授会又は研究科委員会等において無記名投票によりその賛否を決定し、その結果、適任と認められた者について、その所属する学部等の長（以下「学部長等」という。）は学長に推薦するものとする。

2 前項の教授会又は研究科委員会等の成立には、構成員の4分の3以上の出席を

要し、その4分の3以上の賛否をもって決定する。ただし、書面による投票を認める。

3 前項の教授会又は研究科委員会等の構成員には、外国出張、休職及び就業禁止期間中の者を含まないものとする。

第10条 選考委員会において選考された候補者が、教授会又は研究科委員会等で否決されたときは、選考委員会において再度選考するものとする。ただし、否決された候補者は、満1年を経過しなければ、同一専門分野において再び選考することはできない。

第11条 停年その他の事由によつて、退職又は転出の予定される者の後任は、事前に選考することができる。

第12条 助手の採用については、別に定める内規に基づき、当該学科、専攻又はセンター（以下「学科等」という。）において選考の上、教授会又は研究科委員会等の議を経て、学部長等は学長に推薦するものとする。

第13条 非常勤講師の採用については、学部長等が当該学科等と協議の上、教授会又は研究科委員会等の議を経て、学長に推薦するものとする。

#### 附 則

この規程は、平成6年9月29日から施行する。

○平成 6 年お茶の水女子大学規則第15号

お茶の水女子大学国際学生宿舎規程を次のとおり定める。

平成 6 年 9 月 29 日

お茶の水女子大学長 太 田 次 郎

お茶の水女子大学国際学生宿舎規程

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、お茶の水女子大学学則第52条第 2 項の規定に基づき、お茶の水女子大学国際学生宿舎（以下「宿舎」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第 2 条 宿舎は、お茶の水女子大学（以下「本学」という。）の学生（外国人留学生を含む。以下同じ。）及び他の国立大学の外国人留学生に対して住居を提供し、これらの学生の勉学環境を整備するとともに、国際交流の推進に寄与することを目的とする。

(管理運営責任者)

第 3 条 宿舎の管理運営責任者は、学生部長とする。

(審議機関)

第 4 条 宿舎の管理運営に関するもののうち次に掲げる事項は、お茶の水女子大学学生委員会（以下「委員会」という。）で審議するものとする。

- 一 入居者選考基準に関する事項
- 二 入居者の選考に関する事項
- 三 第17条に基づく退去に関する事項
- 四 その他宿舎の管理運営に関する重要事項

(入居定員)

第 5 条 宿舎の入居定員は、457人とする。

(入居資格)

第 6 条 宿舎に入居することができる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- 一 本学の学生
- 二 本学以外の東京都内の国立大学の外国人留学生
- 三 その他管理運営責任者が適当と認めた外国人留学生

(入居申請)

第 7 条 宿舎に入居を希望する者は、所定の入居申請書に必要書類を添えて、管理運営責任者に提出しなければならない。

(入居許可)

第 8 条 管理運営責任者は、前条の申請があつたときは、別に定める宿舎入居者選考基準により、委員会が行う選考結果に基づき入居を許可する。

(入居手続)

第 9 条 入居を許可された者は、所定の期日までに入居手続を行い入居しなければ

ならない。

(入居許可の取消し)

第10条 管理運営責任者は、宿舍の入居を許可された者が次の各号のいずれかに該当するときは、入居の許可を取り消すものとする。

- 一 正当な理由なく前条に定める期日までに入居しないとき。
- 二 第7条に規定する入居申請書又は必要書類に虚偽の事実が判明したとき。

(入居期間)

第11条 宿舍に入居できる期間（以下「入居期間」という。）は、2年以内とし、管理運営責任者が定めるものとする。ただし、管理運営責任者は、真にやむを得ない特別の事情があると認めるときは、委員会の議を経て、1年を超えない範囲で、延長を許可することができる。

- 2 入居期間の延長を希望する者は、管理運営責任者に申請して、その許可を得なければならない。
- 3 第1項ただし書及び前項の規定は、再延長の場合に準用する。

(寄宿料)

第12条 宿舍に入居した者（以下「入居者」という。）は、国立学校における授業料その他の費用に関する省令（昭和36年文部省令第9号）に定める寄宿料（以下「寄宿料」という。）を毎月所定の期日までに、本学が指定する者に納付しなければならない。

- 2 入居又は退去の日が月の中途である場合であつても、当該入居又は退去の属する月の寄宿料は、1月分を納付しなければならない。
- 3 休業期間中の寄宿料は、第1項の規定にかかわらず、当該休業期間開始日の前日までに納付しなければならない。
- 4 既納の寄宿料は、返還しない。

(経費の負担)

第13条 入居者は、別表に定める負担区分により私生活のために消費する電気料、水道料及びその他必要な経費を負担しなければならない。

- 2 入居者は、前項により負担する経費のうち電気料、水道料及び燃料費（以下「光熱水料」という。）を毎月所定の期日までに本学の指定する者に納付しなければならない。

(遵守事項)

第14条 入居者は、宿舍の施設設備及び備品の保全並びに快適な環境の保持に努めるとともに、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 居室を居住以外の目的に使用しないこと。
- 二 指定された居室から許可なく他の居室に移転しないこと。
- 三 居室の設備を移転したり備品等を居室外に持ち出したりしないこと。
- 四 居室内で調理等は行わないこと。
- 五 施設等に許可なく工作を加えないこと。
- 六 爆発物その他危険物等を持ち込まないこと。
- 七 火災その他の災害の防止及び保健衛生に留意し、快適な環境の保持に努めること。

八 別に定める入居者の心得を守ること。

(損害賠償)

第15条 入居者は、故意又は過失により、宿舍の施設設備若しくは備品を滅失、損傷又は汚損したときは、直ちに管理運営責任者に届け出るとともに、速やかにこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(退 去)

第16条 入居者は、次の各号のいずれかに該当したときは、速やかに宿舍を退去しなければならない。

- 一 入居期間が満了したとき。
- 二 第6条に規定する入居資格を失ったとき。
- 三 入居の許可が取り消されたとき。
- 四 退去命令が出されたとき。

(退去命令)

第17条 入居者が次の各号のいずれかに該当するときは、管理運営責任者は、委員会の議を経て、退去を命ずることができるものとする。

- 一 正当な理由がなく寄宿料及び光熱水料を所定の期日までに納付しないとき。
- 二 停学処分を受けたとき。
- 三 3月以上の休学又は留学を認められたとき。
- 四 宿舍における風紀又は秩序を乱す行為のあったとき。
- 五 疾病その他保健衛生上、共同生活に適さないと認められるとき。
- 六 その他この規程に違反するなど宿舍における管理運営に重大な支障をきたす行為があったとき。

(退去手続)

第18条 入居者は、宿舍を退去するときは、指定された期日までに、所定の退去届を管理運営責任者に提出して、その承認を得なければならない。

(入居者以外の者の宿泊禁止)

第19条 入居者は、宿舍に入居者以外の者を宿泊させてはならない。

(共用施設の一時使用)

第20条 入居者が宿舍の多目的ホール及び和室の使用を希望するときは、事前に管理運営責任者の許可を受けなければならない。

(事 務)

第21条 宿舍に関する事務は、学生課において処理する。

(補 則)

第22条 この規程の実施に関し必要な事項は、委員会の議を経て管理運営責任者が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成6年10月1日から施行する。
- 2 この規程施行の際、お茶の水女子大学学寮規程の一部を改正する規程（平成6年9月29日制定）による改正前のお茶の水女子大学学寮規程（平成5年2月24日制定）（以下「改正前の規程」という。）の規定により現に大山寮に在寮している

者は、この規程により国際学生宿舎に入居を許可された者とし、引き続き入居させるものとする。ただし、入居期間については、第11条の規定にかかわらず、改正前の規程第9条の規定によるものとする。

3 宿舎の入居定員は、第5条の規定にかかわらず、当分の間、別に定める。

別 表

宿 舎 経 費 負 担 区 分

(1) 電気料、水道料及び燃料費の経費

負担区分 室名等	電 気 料		水 道 料		燃 料 費	
	大 学 負 担	入居者 負 担	大 学 負 担	入居者 負 担	大 学 負 担	入居者 負 担
居 室		○		○		○
浴 室		○		○		○
シャワー室・脱衣室		○		○		○
洗 面 室		○		○		
洗 濯 室		○		○		
補 食 堂		○		○		
便 所		○		○		
職 員 便 所	○		○			
玄 関 ロ ビ ー	○		○			
多 目 的 ホ ー ル		○		○		
和 室		○		○		
廊 下 ・ 階 段	○					
事 務 室	○		○			
設 備 室	○		○			
倉 庫	○					
ゴミステーション		○		○		
基 本 料 金	○		○		○	

(2) 消耗品等の費用

居室の清掃用品その他入居者の私生活のため必要な消耗品の費用並びに入居者の排出するゴミ処理に要する費用及び入居者の生活の場に要する清掃費等の費用は入居者負担

○平成 6 年お茶の水女子大学規則第16号

お茶の水女子大学学寮規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成 6 年 9 月 29 日

お茶の水女子大学長 太 田 次 郎

お茶の水女子大学学寮規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学学寮規程（平成 5 年 2 月 24 日制定）の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

お茶の水女子大学小石川寮規程

第 2 条及び第 3 条を次のように改める。

（設 置）

第 2 条 本学に、小石川寮（以下「学寮」という。）を置く。

（定 員）

第 3 条 学寮の定員は、80 人とする。

第18条を第19条とし、同条の前に次の 1 条を加える。

（事 務）

第18条 学寮に関する事務は、学生課において処理する。

別表中重油代の項を削る。

附 則

この規程は、平成 6 年 10 月 1 日から施行する。



○平成 6 年お茶の水女子大学規則第17号

お茶の水女子大学文教育学部の講座及び学科目並びに授業科目に関する規程の一部を改正する規程を次のとおり定める。

平成 6 年 9 月 29 日

お茶の水女子大学長 太 田 次 郎

お茶の水女子大学文教育学部の講座及び学科目並びに授業科目に関する規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学文教育学部の講座及び学科目並びに授業科目に関する規程（平成 5 年 3 月 24 日制定）の一部を次のように改正する。

題名を次のように改める。

お茶の水女子大学文教育学部の講座及び授業科目に関する規程

第 1 条を次のとおり改める。

（講 座）

第 1 条 お茶の水女子大学文教育学部の学科又は学部における講座については、国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令（昭和 39 年文部省令第 3 号）の定めるところによる。

第 2 条第 2 項を削る。

別表第 1 から別表第 10 を次のように改める。

（別紙のとおり）

附 則

この規程は、平成 6 年 9 月 29 日から施行し、平成 6 年 6 月 24 日から適用する。

別表第1 哲 学 科

講座	△ 哲 学	△ 倫 理 学
授 業 科 目	哲 学 基 礎 演 習 2	倫 理 学 基 礎 演 習 2
	哲 学 概 論 4	倫 理 学 概 論 4
	西 洋 古 代 中 世 哲 学 史 2	日 本 倫 理 思 想 史 4
	西 洋 近 代 哲 学 史 2	東 洋 倫 理 思 想 史 4
	哲 学 演 習 A 4	西 洋 倫 理 思 想 史 4
	同 B 4	倫 理 学 演 習 A 4
	同 C 4	同 B 4
	同 D 4	同 C 4
	同 E 4	同 D 4
	哲 学 特 殊 講 義 A 4	倫 理 学 特 殊 講 義 A 4
	同 B 4	同 B 4
	同 C 4	同 C 4
	※ギ リ シ ャ 語 (初級) 4	同 D 4
	※ギ リ シ ャ 語 (上級) 4	卒 業 論 文 8
	※ラ テ ン 語 (初級) 4	# 倫 理 ・ 宗 教 2
	※ラ テ ン 語 (上級) 4	
	卒 業 論 文 8	
	# 哲 学 2	
	# 倫 理 学 2	

講座	△ 美 学	△ 社 会 学
授 業 科 目	美 学 ・ 美 術 史 基 礎 演 習 2	社 会 学 基 礎 演 習 2
	美 学 概 論 4	社 会 学 概 論 4
	東 洋 美 術 史 4	社 会 学 史 4
	西 洋 美 術 史 4	社 会 調 査 4
	美 学 ・ 美 術 史 演 習 A 4	社 会 学 特 殊 講 義 A 4
	同 B 4	同 B 4
	同 C 4	同 C 4
	同 D 4	同 D 4
	美 学 ・ 美 術 史 特 殊 講 義 A 4	社 会 学 演 習 A 4
	同 B 4	同 B 4
	同 C 4	同 C 4
	同 D 4	同 D 4
	卒 業 論 文 8	※法 学 通 論 4
	# 芸 術 II 2	※政 治 学 通 論 4
		※社 会 学 通 論 I 4

授 業 科 目	※社 会 学 通 論 II 4
	※經 済 学 通 論 II 4
	卒 業 論 文 8
	#法 学 I 2
	#現 代 社 会 分 析 I 2
	#經 済 基 礎 論 2
	#現 代 經 済 2

別表第2 史 学 科

講座	△ 日 本 文 化 史 学	△ 日 本 史 学
授 業 科 目	日 本 史 概 説 II 2	日 本 史 概 説 I 2
	史 学 研 究 指 導 2	日 本 史 研 究 法 2
	日 本 史 講 読 II 2	史 学 研 究 指 導 2
	日 本 史 特 殊 講 義 D 4	日 本 史 講 読 I 2
	同 E 4	日 本 史 特 殊 講 義 A 4
	日 本 史 学 演 習 C 4	同 B 4
	同 D 4	同 C 4
	考 古 学 通 論 4	日 本 史 学 演 習 A 4
	歴 史 考 古 学 4	同 B 4
	史 料 管 理 学 4	古 文 書 学 4
	卒 業 論 文 8	史 跡 調 査 2
	#現 代 社 会 分 析 II 2	卒 業 論 文 8

講座	△ 東 洋 史 学	△ 西 洋 史 学
授 業 科 目	東 洋 史 概 説 2	史 学 概 論 2
	東 洋 史 研 究 法 2	西 洋 史 概 説 2
	史 学 研 究 指 導 2	西 洋 史 研 究 法 2
	東 洋 史 講 読 I 2	史 学 研 究 指 導 2
	同 II 2	西 洋 史 講 読 I 2
	東 洋 史 特 殊 講 義 A 4	同 II 2
	同 B 4	西 洋 史 特 殊 講 義 A 4
	同 C 4	同 B 4
	同 D 4	同 C 4
	東 洋 史 学 演 習 A 4	同 D 4
	同 B 4	西 洋 史 学 演 習 A 4
	同 C 4	同 B 4
	卒 業 論 文 8	同 C 4

	※経 済 学 通 論 I 4
	※特 別 外 国 語 4
	卒 業 論 文 8
	#社 会 史 2

別表第3 地 理 学 科

講座	△ 人 文 地 理 学	△ 自 然 地 理 学
授 業 科 目	地 理 学 概 説 2	地 形 学 2
	経 済 地 理 学 2	気 候 学 2
	社 会 地 理 学 2	地 理 学 基 礎 演 習 I 2
	都 市 地 理 学 2	同 II 2
	地 理 学 基 礎 演 習 I 2	地 理 学 演 習 I 2
	同 II 2	同 II 2
	地 理 学 演 習 I 2	同 III 2
	同 II 2	地 理 学 野 外 調 査 I 2
	同 III 2	同 II 2
	地 理 学 野 外 調 査 I 2	野 外 調 査 演 習 2
	同 II 2	自 然 地 理 演 習 A 4
	野 外 調 査 演 習 2	同 B 4
	人 文 地 理 演 習 A 4	同 C 4
	同 B 4	同 D 4
	同 C 4	自 然 地 理 学 I 2
	同 D 4	同 II 2
	文 化 地 理 学 2	同 III 2
	歴 史 地 理 学 2	自 然 地 理 学 実 験 I 1
	人 文 地 理 学 I 2	同 II 1
	同 II 2	地 理 学 特 殊 講 義 I 2
	同 III 2	同 II 2
	同 IV 2	同 III 2
	地 理 学 特 殊 講 義 IV 2	卒 業 論 文 8
	同 V 2	#地 学 (地質鉱物) 2
	同 VI 2	
	卒 業 論 文 8	
	#国 際 社 会 論 2	
	#地 域 研 究 2	
	#社 会 情 報 学 2	
	#情 報 処 理 学 2	
	#プ ロ グ ラ ミ ン グ 実 習 2	

講座	△ 地 誌 学		
授 業 科 目	開 発 地 理 学		2
	地 図 情 報 学		2
	地 理 学 基 礎 演 習	I	2
	同	II	2
	地 理 学 演 習	I	2
	同	II	2
	同	III	2
	地 理 学 野 外 調 査	I	2
	同	II	2
	野 外 調 査 演 習		2
	日 本 地 誌	I	2
	同	II	2
	外 国 地 誌	I	2
	同	II	2
	同	III	2
	同	IV	2
	地 誌 演 習	A	4
	同	B	4
	同	C	4
	同	D	4
	地 理 学 特 殊 講 義	VII	2
	同	VIII	2
	※情 報 学 特 講		2
	※情 報 学 講 義 演 習		4
	卒 業 論 文		8

別表第4 国 文 学 科

講座	△ 古 典 国 文 学	△ 近 代 国 文 学
授 業 科 目	上 代 中 古 日 本 文 学 史	4
	中 世 日 本 文 学 史	4
	国 文 学 研 究 指 導	2
	国 文 学 基 礎 講 義	I 2
	同	II 2
	同	III 2
	国 文 学 講 義 講 読	I 4
	同	II 4
	近 代 日 本 文 学 史	4
	近 代 日 本 文 学 史	4
	国 文 学 研 究 指 導	2
	国 文 学 基 礎 講 義	IV 2
	同	V 2
	同	VI 2
	国 文 学 講 義 講 読	IV 4
	同	V 4

授 業 科 目	国文学講義講読	Ⅲ	4	国文学講義講読	Ⅵ	4
	国文学講義演習	Ⅰ	4	国文学講義演習	Ⅳ	4
	同	Ⅱ	4	同	Ⅴ	4
	同	Ⅲ	4	同	Ⅵ	4
	国文学基礎演習		4	国文学特殊講義	Ⅴ	4
	国文学特殊講義	Ⅰ	4	同	Ⅵ	4
	同	Ⅱ	4	同	Ⅶ	4
	同	Ⅲ	4	同	Ⅷ	4
	同	Ⅳ	4	国文学概説		2
	卒業論文		8	卒業論文		8
	#日本文学		2			

講座	△ 国 語 学		
授 業 科 目	国語学概論		4
	国語法概説		4
	国文学研究指導		2
	国語学講義演習	Ⅰ	4
	同	Ⅱ	4
	国語史概説		4
	国語表現法	Ⅰ	2
	同	Ⅱ	2
	国語学基礎演習		4
	国語学特殊講義	Ⅰ	4
	同	Ⅱ	4
	卒業論文		8
	日本語学概論		4
	日本語学講義演習	Ⅰ	2
	同	Ⅱ	2
	日本文法論		4
	日本語表現法		4
	日本語史		4
	日本語学特殊講義		4
	日本語教育法	Ⅰ	4
	同	Ⅱ	4
	日本語教育法演習		4
	日本語教育実習		4
	#日本語論		2

別表第5 外国文学科

講座	△ 中国文学	△ 中国語学
授 業 科 目	中国古典文学史 4	中国語演習 I 4
	中国現代文学史 2	同 II 4
	中国文学講読 4	同 III 4
	中国事情 2	同 IV 4
	中国文化論 2	中国語講読 2
	中国文学古典演習 4	中国語会話演習 I 4
	中国文学講義演習 I 4	中国語学概論 4
	同 II 4	中国語学講義演習 I 4
	同 III 4	同 II 4
	同 IV 4	同 III 4
	同 V 4	同 IV 4
	同 VI 4	同 V 4
	中国文学特殊講義 2	同 VI 4
	卒業論文 8	同 VII 4
	#外国文学 2	同 VIII 4
		中国語学特殊講義 2
		中国語作文演習 I 4
		同 II 4
		中国語会話演習 II 4
		卒業論文 8
		#中国語初級(文法) 4
		#中国語初級(演習) 4
		#中国語初級(読本) 4
		#中国語中級 I 4
		#中国語中級 II 4
		#中国語上級 4
		#中国語会話 4
		#中国語初歩 4
		#朝鮮語初歩 4
		#朝鮮語会話 4

講座	△ 英文学	△ 米文学
授 業 科 目	英米文学演習 I 4	英米文学演習 I 4
	同 II 4	同 II 4
	同 III 4	同 III 4
	同 IV 4	同 IV 4

授 業 科 目	英 米 文 学 演 習	V	4	英 米 文 学 演 習	V	4
	特 別 演 習	I	4	特 別 演 習	I	4
	同	II	4	同	II	4
	英 文 学 史	I	4	ア メ リ カ 文 学 史	I	4
	同	II	4	英 米 事 情	I	2
	英 文 学 概 論	I	4	同	II	2
	英 文 学 特 殊 講 義	I	4	英 文 学 特 殊 講 義	I	4
	同	II	4	同	II	4
	同	III	4	同	III	4
	同	IV	4	同	IV	4
	同	V	2	同	V	2
	同	VI	2	同	VI	2
	卒 業 論 文		8	卒 業 論 文		8
	#外 国 文 学		2	#外 国 文 学		2

講座	△ 英 語 学		△ 独 文 学 ・ 独 語	
授 業 科 目	特 別 演 習	I 4	※独 文 学 演 習	4
		II 4	#外 国 文 学	2
	英 語 学 概 論	4	#ド イ ツ 語 初 級 (文法)	4
	英 文 法 演 習	4	#ド イ ツ 語 初 級 (演習)	4
	英 作 文 演 習	I 4	#ド イ ツ 語 初 級 (読本)	4
	同	II 4	#ド イ ツ 語 中 級 I	4
	同	III 2	#ド イ ツ 語 中 級 II	4
	英 語 音 声 学	I 2	#ド イ ツ 語 上 級	4
	同	II 2	#ド イ ツ 語 初 級 会 話	4
	英 語 表 現 学	4	#ド イ ツ 語 上 級 会 話	4
	英 会 話 演 習	I 4	#ド イ ツ 語 初 歩	4
	同	II 2		
	同	III 2		
	英 語 学 特 殊 講 義	I 4		
	同	II 4		
	同	III 4		
	同	IV 4		
	同	V 2		
	同	VI 2		
	卒 業 論 文	8		
#基 礎 英 語	4			
#総 合 英 語	I 2			
#総 合 英 語	II 2			



授 業 科 目	#総	合	英	語	Ⅲ	4
	#英	会	話		I	2
	#英	会	話		Ⅱ	2
	#上	級	英	語	I	4
	#上	級	英	語	Ⅱ	4
	#英	会	話		Ⅲ	2
	#英	会	話		Ⅳ	2
	#ロ	シ	ア	語	初	4
	#ロ	シ	ア	語	会	4

講座	△ 仏 文 学 ・ 仏 語					△ 言 語 学				
授 業 科 目	フ	ラ	ン	ス	語	演	習	I	4	※言 語 学 概 論 4
	同							Ⅱ	4	
	同							Ⅲ	4	
	同							Ⅳ	4	
	同							Ⅴ	4	
	仏	文	学	演	習	I	4			
	同					Ⅱ	4			
	同					Ⅲ	4			
	同					Ⅳ	4			
	同					Ⅴ	4			
	仏	作	文	演	習		4			
	仏	語	学	演	習	I	4			
	同					Ⅱ	4			
	仏	文	学	概	論		4			
	仏	文	学	史			4			
	仏	会	話	演	習	I	4			
	同					Ⅱ	4			
	仏	文	学	特	殊	講	義	I	4	
	同					Ⅱ	4			
	同					Ⅲ	4			
	仏	語	学	概	論		4			
	仏	語	学	特	殊	講	義		4	
	フ	ラ	ン	ス	文	明	I	2		
	同					Ⅱ	2			
	フ	ラ	ン	ス	事	情	I	2		
	同					Ⅱ	2			
	フ	ラ	ン	ス	思	想		4		
	※仏	文	学	演	習		4			

授 業 科 目	卒 業 論 文	8
	#外 国 文 学	2
	#フランス語初級(文法)	4
	#フランス語初級(演習)	4
	#フランス語初級(読本)	4
	#フランス語中級Ⅰ	4
	#フランス語中級Ⅱ	4
	#フランス語上級	4
	#フランス語初級会話	4
	#フランス語上級会話	4
	#フランス語初歩	4

別表第6 教 育 学 科

講座	△教育学・教育史	△教育社会学・教育行政
授 業 科 目	教 育 研 究 入 門	4
	教 育 実 地 研 究	1
	教 育 哲 学 概 論	2
	教 育 史 学 概 論	2
	教 育 学 研 究 指 導	1
	教 育 哲 学 演 習 Ⅰ	4
	同 Ⅱ	4
	教 育 史 学 演 習 Ⅰ	4
	同 Ⅱ	4
	教 育 哲 学 特 殊 講 義 Ⅰ	2
	同 Ⅱ	2
	教 育 史 学 特 殊 講 義 Ⅰ	2
	同 Ⅱ	2
	教 育 学 特 殊 講 義 Ⅰ	2
	卒 業 論 文	8
		教 育 研 究 入 門
		4
		教 育 実 地 研 究
		1
		教 育 社 会 学 概 論
		2
		教 育 行 政 学 概 論
		2
		文 化 人 類 学 概 論
		2
		教 育 学 研 究 指 導
		1
		教 育 社 会 学 演 習 Ⅰ
		4
		同 Ⅱ
		4
		教 育 行 政 学 演 習 Ⅰ
		4
		同 Ⅱ
		4
		文 化 人 類 学 演 習 Ⅰ
		4
		同 Ⅱ
		4
		教 育 社 会 学 特 殊 講 義 Ⅰ
		2
		同 Ⅱ
		2
		教 育 行 政 学 特 殊 講 義 Ⅰ
		2
		同 Ⅱ
		2
		文 化 人 類 学 特 殊 講 義 Ⅰ
		2
		同 Ⅱ
		2
		教 育 学 特 殊 講 義 Ⅱ
		2
		卒 業 論 文
		8
		#文 化 人 類 学
		2

講座	△ 教育課程・教育方法	△ 社会教育学
授 業 科 目	教育研究入門 4	教育研究入門 4
	教育実地研究 1	教育実地研究 1
	教育方法学概論 2	社会教育学概論 2
	教育課程概論 2	博物館学概論 2
	教育学研究指導 1	教育学研究指導 1
	教育方法学演習Ⅰ 4	社会教育学演習Ⅰ 4
	同Ⅱ 4	同Ⅱ 4
	教育課程演習Ⅰ 4	博物館学演習Ⅰ 4
	同Ⅱ 4	同Ⅱ 4
	教育方法学特殊講義Ⅰ 2	社会教育学特殊講義Ⅰ 2
	同Ⅱ 2	同Ⅱ 2
	教育課程特殊講義Ⅰ 2	博物館学特殊講義Ⅰ 2
	同Ⅱ 2	同Ⅱ 2
	教育学特殊講義Ⅲ 2	教育学特殊講義Ⅳ 2
	卒業論文 8	社会教育特計画Ⅰ 2
		同Ⅱ 2
		社会教育特講Ⅰ 2
		同Ⅱ 2
		同Ⅲ 2
		社会教育課題研究 2
		社会教育実習 2
		博物館実習Ⅰ 1
		同Ⅱ 2
		卒業論文 8

講座	△ 教育心理学	△ 発達心理学
授 業 科 目	教育心理学概論 2	発達心理学概論 2
	社会心理学概論 2	臨床心理学概論 2
	心理学基礎演習Ⅰ 2	心理学基礎演習Ⅰ 2
	同Ⅱ 2	同Ⅱ 2
	心理学研究法 4	心理学基礎実験演習 4
	社会心理学演習Ⅰ 2	心理学研究法 4
	同Ⅱ 2	発達心理学演習Ⅰ 2
	教育心理学演習Ⅰ 2	同Ⅱ 2
	同Ⅱ 2	臨床心理学演習Ⅰ 2
	社会心理学研究法Ⅰ 4	同Ⅱ 2
	同Ⅱ 4	発達心理学研究法Ⅰ 4

授 業 科 目	教育心理学研究法 I	4	発達心理学研究法 II	4
	同 II	4	臨床心理学研究法 I	4
	心理学特殊講義 I	2	同 II	4
	同 II	2	心理学特殊講義 V	2
	同 III	2	同 VI	2
	同 IV	2	同 VII	2
	卒業論文	8	同 VIII	2
	#現代心理学	2	卒業論文	8

講座	△ 認知心理学	
授 業 科 目	認知心理学概論	2
	心理学基礎演習 I	2
	同 II	2
	人間情報学演習	2
	心理統計学 I	2
	同 II	2
	同 III	2
	心理学基礎実験演習	4
	心理学研究法	4
	認知心理学演習 I	2
	同 II	2
	認知心理学研究法 I	4
	同 II	4
	心理学特殊講義 IX	2
	同 X	2
	卒業論文	8

別表第7 舞踊教育学科

講座	△ 舞踊教育学	△ 遊 戯 学
授 業 科 目	舞踊芸術学講義演習	2
	民族舞踊学講義演習	2
	舞 踊 学 概 論	4
	舞踊教育学概論	2
	モダンダンス・テクニク I	1
	同 II	1
	同 III	1
	同 IV	1
		体 育 原 理 4 (体育管理を含む)
		遊 戯 学 概 論 2
		体 育 心 理 学 2
		ス ポ ー ツ 人 間 学 2
		陸上競技系運動学実習 1
		体操系運動学実習 I 1
		同 II 1

授 業 科 目	モダンダンス・テクニックV	1	球技系運動学実習 I	1
	舞踊教育法実習 I	1	同 II	1
	同 II	1	同 III	1
	日本舞踊	1	水泳実習	1
	バレエ	1	スキー実習	1
	民族舞踊	1	遊戯学演習 I	2
	舞踊・運動科学研究法入門	2	同 II	2
	舞踊教育学実験演習	4	スポーツ文化論演習	2
	舞踊学特講	2	体育社会学	2
	舞踊伴奏法 I	2	体育史	2
	同 II	2	舞踊美学	2
	舞踊表現技法論	2	舞踊美学演習	2
	卒業論文	8	舞踊人間学	2
			舞踊創作法実習 I	1
			同 II	1
			同 III	2
			卒業論文	8
			#スポーツ健康概論	2
			#スポーツ健康	2
			#スポーツ健康実習	2
			#生涯スポーツ	1~3

講座	△ 動作学	
授 業 科 目	動作学概論	2
	解剖学	2
	生理学	2
	(運動生理学を含む)	
	動作学実験演習	4
	病理学	2
	学校保健	2
	精神保健	2
	衛生学及び公衆衛生学	2
	表現療法講義演習	2
	動作学特講	2
	体力論	2
	身体運動科学概論	2
	運動学概論	2
	学校安全と救急看護	2
	卒業論文	8

講座	△ 音 楽 学	△ 演 奏 学
授 業 科 目	音 楽 理 論 2	ピ ア ノ I 演 習 4
	作 曲 法 2	(伴奏を含む)
	ソ ル フ ェ ー ジ ュ 4	声 楽 I 演 習 4
	西 洋 音 楽 史 概 説 4	ソ ル フ ェ ー ジ ュ 4
	音 楽 学 概 説 4	ピ ア ノ II A 2
	音 楽 教 育 学 概 説 4	同 II B 2
	和 声 理 論 4	同 III A 2
	対 位 法 2	同 III B 2
	音 楽 形 式 法 2	同 IV A 2
	音 楽 理 論 特 講 I 4	同 IV B 2
	同 II 2	器 楽 演 奏 学 4
	同 III 2	器 楽 演 奏 学 特 講 I 4
	音 楽 史 特 講 I 4	同 II 2
	同 II 2	同 III 2
	同 III 2	ピ ア ノ 作 品 研 究 I 4
	音 楽 美 学 4	同 II 2
	音 楽 美 学 特 講 I 4	同 III 4
	同 II 2	ピ ア ノ 演 奏 法 研 究 I 4
	同 III 2	同 II 2
	日 本 音 楽 史 2	同 III 4
	日 本 音 楽 史 特 講 2	声 楽 II A 2
	東 洋 音 楽 史 2	同 II B 2
	東 洋 音 楽 史 特 講 2	同 III A 2
	民 族 音 楽 理 論 4	同 III B 2
	民 族 音 楽 学 2	同 IV A 2
	民 族 音 楽 学 特 講 I 4	同 IV B 2
	同 II 2	声 楽 演 奏 学 4
	音 楽 社 会 学 2	声 楽 演 奏 学 特 講 I 4
	音 楽 社 会 学 特 講 2	同 II 2
	音 楽 心 理 学 2	同 III 2
	音 楽 心 理 学 特 講 2	声 楽 作 品 研 究 I 4
	音 響 学 2	同 II 2
	音 声 生 理 学 2	同 III 4
	音 楽 教 育 史 概 説 4	声 楽 演 奏 法 研 究 I 4
	音 楽 教 育 学 特 講 I 4	同 II 2
	同 II 2	同 III 4
	同 III 2	合 奏 I 1
	卒 業 論 文 8	同 II 1

授 業 科 目	# 芸 術	I 2	合 奏	Ⅲ	1
			同	Ⅳ	1
			同	唱	I 1
			同	Ⅱ	1
			同	Ⅲ	1
			同	Ⅳ	1
			指 揮	法	2
			伴 奏	法	2
			ピアノアンサンブル研究	I	4
			同	Ⅱ	2
			同	Ⅲ	4
			音楽アンサンブル研究	I	4
			同	Ⅱ	2
			同	Ⅲ	4
			卒業演奏研究		2
			卒業論文		8
			※特別外国語		4

別表第8 全学共通科目

授 業 科 目	# 基 礎	ゼ ミ	2
	# 総 合	コ ー ス	2~8

別表第9 外国人留学生特別科目

授 業 科 目	日 本 語	I A	2
	同	I B	2
	同	Ⅱ A	2
	同	Ⅱ B	2
	同	Ⅲ A	2
	同	Ⅲ B	2
	同	Ⅳ A	2
	同	Ⅳ B	2
	同	V A	2
	同	V B	2
	日 本 事 情	I A	2
	同	I B	2
	同	Ⅱ A	2
	同	Ⅱ B	2

授 業 科 目	日 本 事 情	Ⅲ A	2
	同	Ⅲ B	2
	同	Ⅳ A	2
	同	Ⅳ B	2
	同	V A	2
	同	V B	2

備 考（別表中）

- 1 講座欄の△印を冠するものは、修士講座を示す。
- 2 授業科目欄の※印を冠するものは、学部共通科目を、#印を冠するものは、コア科目を示す。



○平成 6 年お茶の水女子大学規則第18号

お茶の水女子大学生生活科学部の講座及び学科目並びに授業科目に関する規程の一部を改正する規程を次のとおり定める。

平成 6 年 9 月 29 日

お茶の水女子大学長 太 田 次 郎

お茶の水女子大学生生活科学部の講座及び学科目並びに授業科目に関する規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学生生活科学部の講座及び学科目並びに授業科目に関する規程（平成 5 年 3 月 24 日制定）の一部を次のように改正する。

題目を次のように改める。

お茶の水女子大学生生活科学部の講座及び授業科目に関する規程

第 1 条を次のとおり改める。

（講 座）

第 1 条 お茶の水女子大学生生活科学部の学科又は学部に置かれる講座については、国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令（昭和 39 年文部省令第 3 号）の定めるところによる。

第 2 条第 2 項を削る。

別表第 2 から別表第 4 を次のように改める。

（別紙のとおり）

附 則

この規程は、平成 6 年 9 月 29 日から施行し、平成 6 年 6 月 24 日から適用する。

別表第2 人間生活学科

講座	△ 発 達 臨 床 学					△ 生 活 社 会 科 学				
授	※生涯発達学	2	※比較女性論	2		※人間関係学	2			
	※児童学概論	2	※生活設計論	2		※家族関係論	2			
業	*教育発達学	2	※家政経済学概論	2		*発達保健学	2			
	*障害臨床学	2	*家族生活史総論	2		*心理臨床学	2			
科	*保育臨床学	2	*生活法学総論	2		*児童文化論	2			
	発達臨床基礎論	4	*比較家族思想史	2		発達臨床基礎演習	4			
目	発達臨床診断法	2	*労働経済学総論	2		発達臨床人格検査法	2			
	発達臨床観察法	2	*発達社会学	2		発達臨床実驗法	2			
	障害臨床統計法	4	生活社会科学概論	2		発達臨床統計法	4			
	卒業論文	8	家族関係学	2		卒 業 論 文	8			
	児童学入門	2	家族経済学	2		児童学入門	2			
	生活発達心理学	2	生活社会科学演習	2		生活発達心理学	2			
	教授心理学	2	生活社会科学方法論	2		教授心理学	2			
	発達神経学	2	社会統計学	4		発達神経学	2			
	障害心理学	2	消費者経済学	2		障害心理学	2			
	カウンセリング論	2	家族法律学総論	2		カウンセリング論	2			
	教育臨床学	2	家族社会学総論	2		教育臨床学	2			
	生活臨床学	2	卒業論文	8		生活臨床学	2			
	発達社会文化論	2	生活関連法	2		発達社会文化論	2			
	発達理 論	2	児童福祉論	2		発達理 論	2			
	人格発達論	2	家庭経営学	2		人格発達論	2			
	集団心理療法	2	労働経済学各論	2		集団心理療法	2			
	家族療法	2	消費者教育論	2		家族療法	2			
	産業心理臨床	2	生活経済学	2		産業心理臨床	2			
	発達社会心理学	2	家族法律学演習	4		発達社会心理学	2			
	保 育 学	2	生活法学演習	4		保 育 学	2			
	精神医学	2	生活政治学演習	4		精神医学	2			
	生涯発達講義講読	2	老年学演習	4		生涯発達講義講読	2			
	教育発達講義講読	2	家族社会学演習	4		教育発達講義講読	2			
	発達保健講義講読	2	消費者経済学演習	4		発達保健講義講読	2			
			生活経済学演習	4						
			労働経済学演習	4						
			消費者経済学実習	2						
			家族法律学各論	2						

授 業 科 目	障 害 臨 床 講 義 講 讀	2	家 族 生 活 史 各 論	2
	心 理 臨 床 講 義 講 讀	2	生 活 法 學 各 論	2
	保 育 臨 床 講 義 講 讀	2	生 活 政 治 學	2
	人 間 関 係 講 義 講 讀	2	老 年 學 各 論	2
	兒 童 文 化 講 義 講 讀	2	家 族 社 會 學 各 論	2
	生 涯 発 達 研 究 演 習	2	生 活 調 査 実 習	2
	教 育 発 達 研 究 演 習	2	家 族 調 査 実 習	2
	発 達 保 健 研 究 演 習	2	生 活 社 会 科 学 論 文 演 習	4
	障 害 臨 床 研 究 演 習	2	生 活 調 査 法	2
	心 理 臨 床 研 究 演 習	2	応 用 生 活 統 計 学	2
	保 育 臨 床 研 究 演 習	2	社 会 福 祉 学	2
	人 間 関 係 研 究 演 習	2	社 会 保 障 論	2
	兒 童 文 化 研 究 演 習	2	老 人 福 祉 学	2
	発 達 臨 床 論 文 演 習	4	地 域 社 会 論	2
	発 達 論 文 演 習	4	家 族 心 理 学	2
	障 害 臨 床 論 文 演 習	4	女 性 史	2
	発 達 教 育 実 習	4	比 較 生 活 社 会 論	2
	発 達 保 健 実 習	4	住 生 活 論	2
	心 理 臨 床 実 習	2	生 涯 福 祉 論	2
	保 育 臨 床 実 習	4	#法 学 II	2
	人 間 関 係 実 習	4	#生 活 社 会 論	2
			#女 性 問 題	2

講座	△ 生 活 文 化 学			
授 業 科 目	※被 服 学 概 論	2		
	*服 飾 文 化 論	4		
	*生 活 造 形 論	2		
	*流 行 情 報 論	2		
	*比 較 生 活 文 化 論	2		
	日 本 古 代 ・ 中 世 服 飾 史	2		
	日 本 近 世 ・ 近 代 服 飾 史	2		
	西 洋 古 代 ・ 中 世 服 飾 史	2		
	西 洋 近 世 ・ 近 代 服 飾 史	2		
	生 活 文 化 史	4		
	情 報 解 析 論	4		
	服 飾 美 学	4		
	卒 業 論 文	8		
	環 境 デ ザ イン 実 習	2		
	服 飾 制 作 実 習	2		

授 業 科 目	生 活 造 形 史	2
	比較生活文化論演習	2
	服飾文化論演習	4
	古代・中世服飾論	2
	近世・近代服飾論	2
	日本服飾史演習	4
	服飾文化実習	1
	生活文化実習	1
	現代文化論	2
	歴史文化論	2
	地域文化論	2
	メディア論	2
	生活文化史演習	4
	情報解析演習	4
	服飾美学演習	4
	西洋服飾史演習	4
	工 芸 史	2
	比較生活文化史	4

別表第3 全学共通科目

授 業 科 目	#基礎ゼミ	2
	#総合コース	2~8

備 考（別表中）

- 1 講座欄の△印を冠するものは、修士講座を示す。
- 2 授業科目欄の※印を冠するものは、学部共通科目を、\*印は、学科共通科目を、#印は、コア科目を示す。

○平成 6 年お茶の水女子大学規則第19号

お茶の水女子大学附属高等学校規程の一部を改正する規程を次のとおり定める。

平成 6 年 9 月 29 日

お茶の水女子大学長 太 田 次 郎

お茶の水女子大学附属高等学校規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学附属高等学校規程（昭和28年2月20日制定）の一部を次のように改正する。

第3条中「405人」を「360人」に改める。

附 則

- 1 この規程は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 第3条に定める生徒数は、同条の規定にかかわらず、平成7年度は 390人、平成8年度は 375人とする。

## ◆各種委員会委員◆

1. ( ) は事務担当課
2. \*印は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定
4. 官職は最新のものを掲載  
(編集集中の移動についても  
できる限り補正した)

## 評議会(庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	4.2.16～7.2.15
文教育学部 部 長	窪 添 慶 文	6.10.1～8.9.30
理学部長	小 川 洋 輔	6.4.1～8.3.31
生活科学部 部 長	小 林 彰 夫	6.10.1～8.9.30
家政学部長	小 林 彰 夫	6.4.2～8.3.31
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	6.4.1～9.3.31
附 属 図 書 館 長	大 口 勇 次 郎	6.11.1～8.10.31
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	5.4.1～8.3.31
文教育学部 教 授	辻 佐保子	5.10.1～7.9.30
文教育学部 教 授	田 中 真 砂 子	6.10.1～7.9.30
文教育学部 教 授	平 野 由 紀 子	
理 学 部 教 授	清 水 碩	5.10.1～7.9.30
理 学 部 教 授	渡 辺 ヒサ子	6.4.1～7.9.30
理 学 部 教 授	小 山 敏 子	5.10.1～7.9.30
生活科学部 教 授	板 倉 壽 郎	6.10.1～8.9.30
生活科学部 教 授	水 野 悌 一	
生活科学部 教 授	富 田 守	
家政学部 教 授	板 倉 壽 郎	6.10.1～8.3.31

家 政 学 部 教 授	水 野 悌 一	6.10.1～8.3.31
家 政 学 部 教 授	富 田 守	

## (評議会規則第3条に定める者)

官 職	氏 名	任 期
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	5.4.1～7.3.31
カリキュラム 委 員 会 委 員 長	篠 塚 英 子	6.7.1～7.3.31
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 長	清 水 碩	5.4.1～7.3.31
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	五十嵐 脩	
事 務 局 長	堂 信 一	

## 基本計画委員会(庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	
文教育学部 部 長	窪 添 慶 文	
理学部長	小 川 洋 輔	
生活科学部 部 長 家政学部長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	
附 属 図 書 館 長	大 口 勇 次 郎	
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	
事 務 局 長	堂 信 一	

## 自己点検・評価検討委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生 活 科 学 部 長 家 政 学 部 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	
文 教 育 学 部 教 授	山 本 秀 行	
理 学 部 教 授	富 田 功	
生 活 科 学 部 教 授	中 島 利 誠	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	上 野 浩 道	
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 長	清 水 碩	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	五十嵐 脩	
附 属 図 書 館 長	大 口 勇 次 郎	
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	
事 務 局 長	堂 信 一	

## 国際交流委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	

生 活 科 学 部 長 家 政 学 部 長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	
文 教 育 学 部 助 教 授	平 田 悦 朗	5.4.1～7.3.31
理 学 部 助 教 授	藤 枝 修 子	
生 活 科 学 部 講 師	柴 坂 寿 子	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	藤 山 和 子	
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	5.4.1～7.3.31
人 文 科 学 研 究 科 教 授	水 谷 信 子	
事 務 局 長	堂 信 一	

## 将来構想検討委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 教 授	内 田 伸 子	6.10.1～8.9.30
文 教 育 学 部 助 教 授	栗 原 尚 子	
理 学 部 教 授	藤 原 正 彦	
理 学 部 助 教 授	今 野 美 智 子	
生 活 科 学 部 教 授	本 間 清 一	
生 活 科 学 部 教 授	飯 長 喜 一 郎	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 教 授	石 川 宏	
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 助 教 授	館 かおる	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	倉 田 忠 男	

## 発明委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生 活 科 学 部 長 家 政 学 部 長	小 林 彰 夫	
文 教 育 学 部 教 授	内 藤 俊 史	6.10.1～8.9.30
理 学 部 教 授	細 矢 治 夫	
理 学 部 教 授	福 田 豊	
生 活 科 学 部 助 教 授	畑 江 敬 子	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	倉 田 忠 男	

## 組換えDNA実験安全委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
研究者 理 学 部 教 授	* 清 水 碩	5.12.16 7.12.15
研究者 生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 教 授	大 橋 昌 子	
自然科学 理 学 部 教 授	松 本 勲 武	
自然科学 生 活 科 学 部 助 教 授	村 田 容 常	
人文科学 文 教 育 学 部 教 授	尾 田 幸 雄	
社会科学 生 活 科 学 部 講 師	山 本 政 人	
官職指定 保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	永 川 祐 三	
官職指定 理 学 部 事 務 長	薄 葉 章	
官職指定 生 活 科 学 部 事 務 長	菊 池 昭 夫	5.12.16 7.12.15
安 全 主 任 者	理 学 部 教 授	

## 事務改善研究委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
事 務 局 長	* 堂 信 一	
庶 務 課 長	井 上 重 巳	
会 計 課 長	辻 正 行	
施 設 課 長	老 田 進	
学 務 課 長	筋 忠 男	
学 生 課 長	佐 藤 克 彦	
入 学 主 幹	福 島 毅	
庶 務 課 課 長 補 佐	海老原 葵	
会 計 課 課 長 補 佐	西 村 光 範	
施 設 課 課 長 補 佐	太田原 武	
学 務 課 課 長 補 佐	中 野 公 敏	
文 教 育 学 部 事 務 長	細 井 隆 一	
理 学 部 事 務 長	薄 葉 章	
生 活 科 学 部 事 務 長	菊 池 昭 夫	
附 属 図 書 館 事 務 長	高 橋 伸 夫	

## レクリエーション運営委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
事 務 局 長	* 堂 信 一	
庶 務 課 長	井 上 重 巳	
会 計 課 長	辻 正 行	
施 設 課 長	老 田 進	



学務課長	筋 忠 男
学生課長	佐 藤 克 彦
入学主幹	福 島 毅
文教育学部 事務長	細 井 隆 一
理学部 事務長	薄 葉 章
生活科学部 事務長	菊 池 昭 夫
附属図書館 事務長	高 橋 伸 夫
庶務課課長補佐 附属学校部長 事務室長	海老原 葵
会計課 課長補佐	西 村 光 範
施設課 課長補佐	太田原 武
学務課 課長補佐	中 野 公 敏
研究協力 室 長	古 賀 智

## 女性文化研究センター運営委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
女性文化 研究 センター長	* 清 水 碩	
文教育学部 部長	窪 添 慶 文	
理学部長	小 川 洋 輔	
生活科学 部長 家政学部長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人間文化 研究科長	森 隆 夫	
附 属 図書館長	大 口 勇次郎	
女性文化 研究センター 教 授	原 ひろ子	
女性文化 研究センター 助 教 授	館 かおる	

文教育学部 教 授	中 村 弓 子	6.4.23～8.4.22
理 学 部 教 授	澤 島 侑 子	
生活科学部 教 授	篠 塚 英 子	
事務局長	堂 信 一	

## 生活環境研究センター運営委員会（庶務課）

官 職	氏 名	任 期
生 活 環 境 研 究 センター長	* 五十嵐 脩	
文教育学部 部長	窪 添 慶 文	
理学部長	小 川 洋 輔	
生活科学 部長 家政学部長	小 林 彰 夫	
生活環境 研究センター 教 授	大 橋 昌 子	
生活環境 研究センター 教 授	倉 田 忠 男	
生活環境 研究センター 助 教 授	富 永 典 子	5.4.1～7.3.31
文教育学部 教 授	田 宮 兵 衛	
理 学 部 教 授	石 和 貞 男	6.4.1～8.3.31
生活科学部 教 授	小 川 昭二郎	
生活科学部 教 授	本 間 清 一	
事務局長	堂 信 一	

## 予算委員会（会計課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 部長	窪 添 慶 文	
理学部長	小 川 洋 輔	

生活科学部 家政学部長	小林 彰 夫	
大学院 人間文化 研究科長	森 隆 夫	
文教育学部 教 授	佐 藤 保	6.11.1～7.3.31
文教育学部 教 授	内 藤 博 夫	6.10.1～8.9.30
理 学 部 教 授	平 野 恒 夫	5.4.1～7.3.31
理 学 部 教 授	富 永 靖 徳	6.4.1～8.3.31
生活科学部 教 授	水 野 悌 一	
生活科学部 教 授	中 島 利 誠	5.4.1～7.3.31
大学院人間 文化研究科 教 授	富 田 守	6.4.1～7.3.31
附 属 図 書 館 長	*大 口 勇次郎	
女性文化 研 センター長	清 水 碩	
生活環境 研 センター長	五十嵐 脩	
事 務 局 長	堂 信 一	
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	
会 計 課 長	辻 正 行	

## 防災委員会（会計課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生 活 科 学 部 長 家政学部長	小 林 彰 夫	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	

附 属 図 書 館 長	大 口 勇次郎	
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	
保 健 管 理 センター所長	永 川 祐 三	
事 務 局 長	堂 信 一	
庶 務 課 長	井 上 重 巳	
会 計 課 長	辻 正 行	
施 設 課 長	老 田 進	
学 務 課 長	筋 忠 男	
学 生 課 長	佐 藤 克 彦	

## 購入物品機種選定委員会（会計課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 講 師	杉 谷 隆	6.4.1～8.3.31
文教育学部 教 授	内 藤 俊 史	
理 学 部 教 授	田 中 翠	
理 学 部 教 授	富 田 功	
生活環境 研究センター 教 授	倉 田 忠 男	
生活科学部 教 授	小 川 昭二郎	

## 施設計画委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	

理学部長	小川洋輔	
生活科学部 部長	小林彰夫	
家政学部長		
大学院人間文化 研究科長	森隆夫	
文教育学部 教授	佐藤保	6.11.1～7.9.30
文教育学部 教授	春日喬	5.10.1～7.9.30
理学部 教授	細矢治夫	6.4.1～8.3.31
理学部 教授	石和貞男	5.4.1～7.3.31
生活科学部 教授	板倉壽郎	6.10.1～8.3.31
生活科学部 教授	田中辰明	6.4.1～8.3.31
大学院人間文化研究科 教授	富田守	6.4.1～7.3.31
附属図書館長	大口勇次郎	
附属学校部 部長	尾田幸雄	
女性文化研究 センター長	清水碩	
生活環境研究 センター長	五十嵐脩	
事務局長	堂信一	
学生部長	加賀秀夫	
カリキュラム 委員会 委員長	篠塚英子	

## 館山施設計画委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*小川洋輔	
文教育学部 助 教 授	本田郁子	6.4.1～8.3.31
文教育学部 助 教 授	杉山進	5.10.1～7.9.30

理学部 教授	清水碩	6.4.1～8.3.31
生活科学部 教授	本間清一	6.10.1～8.9.30
理学部附属 臨海実験所 助 教 授	根本心一	
附属高等 学校教頭	早崎捷治	
附属中学校 教 頭	大岩順子	
付属小学校 教 頭	古市憲一	
附属幼稚園 教 頭	榎田正子	
学生部長	加賀秀夫	
事務局長	堂信一	
会計課長	辻正行	
施設課長	老田進	

## 廃水管理委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	杉谷隆	5.10.1～7.9.30
理学部 助 教 授	林正男	
理学部 教 授	浜谷望	
理学部 助 教 授	藤枝修子	
生活科学部 教 授	駒城素子	
生活科学部 助 教 授	大塚恵	
生活環境 研究センター 教 授	*五十嵐脩	
附属高等 学校教諭	磯貝文男	
附属中学校 教 諭	佐々木和枝	

会計課長	辻 正 行	
施設課長	老 田 進	

## カリキュラム委員会（学務課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	内 藤 博 夫	6.4.1～8.3.31
文教育学部 助 教 授	古 田 啓	
文教育学部 助 教 授	宮 尾 正 樹	5.4.1～7.3.31
理 学 部 教 授	永 野 肇	6.7.1～8.3.31
理 学 部 教 授	浜 谷 望	5.4.1～7.3.31
理 学 部 助 教 授	林 正 男	
生活科学部 助 教 授	村 田 容 常	6.4.1～8.3.31
生活科学部 助 教 授	松 浦 秀 治	
生活科学部 教 授	*篠 塚 英 子	5.4.1～7.3.31
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	

## 公開講座委員会（学務課）

官 職	氏 名	任 期
理 学 部 教 授	*石 和 貞 男	6.1.20～7.11.30
文教育学部 助 教 授	小 風 秀 雅	
文教育学部 教 授	平 野 由紀子	
文教育学部 教 授	西 尾 道 子	6.1.20～6.11.30
理 学 部 助 教 授	藤 枝 修 子	
理 学 部 助 教 授	吉 田 裕 亮	6.1.20～7.11.30
生活科学部 教 授	駒 城 素 子	

生活科学部 助 教 授	會 川 義 寛	6.1.20～6.11.30
生活科学部 助 教 授	吉 村 佳 子	
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	

## 学生委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	*中 村 俊 直	5.4.1～7.3.31
文教育学部 助 教 授	坂 元 章	5.4.1～8.3.31
文教育学部 講 師	松 崎 毅	6.4.1～9.3.31
理 学 部 教 授	竹 尾 富貴子	5.4.1～7.3.31
理 学 部 助 教 授	芦 原 坦	5.4.1～8.3.31
理 学 部 助 教 授	森 川 雅 博	6.4.1～9.3.31
生活科学部 講 師	田 代 和 美	5.4.1～7.3.31
生活科学部 助 教 授	御 船 美智子	5.4.1～8.3.31
生活科学部 助 教 授	會 川 義 寛	6.4.1～9.3.31
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	

## 共用体育施設等管理運営委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	*杉 山 進	6.6.16～8.6.15
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
会 計 課 長	辻 正 行	
学 生 課 長	佐 藤 克 彦	

## 保健管理センター運営委員会（学生課）

官 職	氏 名	任 期
保健管理センター所長	*永 川 祐 三	
文教育学部助 教 授	杉 山 進	5.4.1～7.3.31
文教育学部助 教 授	本 田 郁 子	6.4.1～8.3.31
理 学 部 教 授	清 水 碩	5.4.1～7.3.31
理 学 部 助 教 授	前 田 ミチエ	6.4.1～8.3.31
生活科学部 教 授	富 田 守	5.4.1～7.3.31
生活科学部 教 授	水 野 悌 一	6.4.1～8.3.31
附 属 高 等 学 校 教 諭	増 田 かやの	
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	
事 務 局 長	堂 信 一	

## 入学試験委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*太 田 次 郎	
文 教 育 学 部 長	窪 添 慶 文	
理 学 部 長	小 川 洋 輔	
生 活 科 学 部 長	小 林 彰 夫	
文教育学部助 教 授	石 口 彰	5.4.1～7.3.31
文教育学部助 教 授	杉 谷 隆	6.4.1～8.3.31
理 学 部 教 授	馬 場 昭 次	5.4.1～7.3.31
理 学 部 教 授	太 田 隆 夫	6.4.1～8.3.31
生活科学部 教 授	小 川 昭二郎	5.4.1～7.3.31
生活科学部 助 教 授	牧 野 カツコ	6.4.1～8.3.31

学 生 部 長	加 賀 秀 夫	
事 務 局 長	堂 信 一	
保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	永 川 祐 三	
情 報 処 理 セ ン タ ー 長	細 矢 治 夫	

## 入学者選抜方法研究委員会（入学主幹室）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部助 教 授	羽 入 佐和子	5.4.1～7.3.31
文教育学部助 教 授	永 原 恵 三	6.4.1～8.3.31
理 学 部 教 授	馬 場 昭 次	5.4.1～7.3.31
理 学 部 教 授	太 田 隆 夫	6.4.1～8.3.31
生活科学部助 教 授	*徳 井 淑 子	5.4.1～7.3.31
生活科学部助 教 授	杉 田 孝 夫	6.4.1～8.3.31
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	
カリキュラム委員会委員長	篠 塚 英 子	

## 学芸員課程委員会（文教育学部事務部）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	小 川 剛	
文教育学部助 教 授	*鷹 野 光 行	
文教育学部助 教 授	秋 山 光 文	6.10.1～8.9.30
文教育学部助 教 授	安 田 次 郎	
文教育学部助 教 授	熊 谷 圭 知	
文教育学部 教 授	鈴 木 泰	

理学部 教授	山下 貴 司	6.10.1～8.9.30
生活科学部 助 教 授	徳 井 淑 子	

## 理学部附属臨海実験所運営委員会 (理学部事務部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*小 川 洋 輔	
理学部附属 臨海実験 所 長	根 本 心 一	
理学部 教 授	富 永 靖 徳	6.4.1～8.3.31
理学部 教 授	松 本 勲 武	
理学部 教 授	山 下 貴 司	
理学部 助 教 授	渡 辺 洋 子	
文教育学部 教 授	千 歳 壽 一	
文教育学部 助 教 授	栗 原 尚 子	
生活科学部 教 授	本 間 清 一	
生活環境 研究センター 教 授	大 橋 昌 子	
会計課長	辻 正 行	
施設課長	老 田 進	

理学部ラジオアイソトープ実験室運営委員会  
(理学部事務部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*小 川 洋 輔	
RI実験室長	芦 原 坦	
放射線 取扱主任者	古 田 悦 子	
文教育学部 助 教 授	杉 谷 隆	6.4.1～8.3.31

理学部 教 授	田 中 翠	6.10.1～8.9.30
理学部 教 授	清 水 碩	
理学部 教 授	松 本 勲 武	
生活科学部 助 教 授	大 塚 恵	5.10.1～7.9.30
生活環境 研究センター 助 教 授	富 永 典 子	

## 理学部極低温実験室運営委員会 (理学部事務部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*小 川 洋 輔	
極低温実験 室 長	田 中 翠	
理学部 教 授	浜 谷 望	6.4.1～8.3.31
理学部 教 授	永 野 肇	
理学部 助 教 授	芦 原 坦	
生活科学部 助 教 授	畑 江 敬 子	

## 情報処理センター運営委員会 (理学部事務部)

官 職	氏 名	任 期
情報処理 センター長	*細 矢 治 夫	6.10.1～8.9.30
情報処理センター 主 任 理学部助教授	長 嶋 雲 兵	
文教育学部 教 授	千 歳 壽 一	
文教育学部 教 授	内 藤 俊 史	
理学部 教 授	山 下 貴 司	
理学部 教 授	平 野 恒 夫	
生活科学部 助 教 授	村 田 容 常	

生活科学部 助 教 授	田 辺 新 一	6.10.1～8.9.30
大学院人間 文化研究科 教 授	真 島 秀 行	
女 性 文 化 研究センター 助 教 授	館 かおる	
生 活 環 境 研究センター 助 教 授	富 永 典 子	
附 属 図 書 館 長	大 口 勇次郎	
学 生 部 長	加 賀 秀 夫	
カリキュラム 委 員 会 長 委 員 長	篠 塚 英 子	

## 附属図書館運営委員会（附属図書館事務部）

官 職	氏 名	任 期
附 属 図 書 館 長	*大 口 勇次郎	6.11.1～8.10.31
文教育学部 助 教 授	岩 崎 千 鶴	6.4.1～8.3.31
文教育学部 助 教 授	内 田 正 子	6.10.1～8.9.30
理 学 部 助 教 授	亀 井 理	6.4.1～8.3.31
理 学 部 助 教 授	今 野 美智子	
生活科学部 教 授	利 谷 信 義	
生活科学部 助 教 授	鈴 木 恵美子	5.4.1～7.3.31
大学院人間 文化研究科 教 授	渡 辺 ヒサ子	5.6.1～7.5.31
女 性 文 化 研究センター 教 授	原 ひろ子	6.4.1～8.3.31
生 活 環 境 研究センター 教 授	大 橋 昌 子	
カリキュラム 委 員 会 長 委 員 長	篠 塚 英 子	6.7.1～7.3.31

## 附属学校委員会（附属学校部）

官 職	氏 名	任 期
附 属 学 校 部 長	*尾 田 幸 雄	5.4.1～7.3.31
文教育学部 教 授	小 川 剛	
理 学 部 教 授	小 山 敏 子	6.4.1～8.3.31
生活科学部 教 授	湯 沢 雅 彦	
事 務 局 長	堂 信 一	
附 属 小 学 校 長	森 下 はるみ	
附 属 中 学 校 長	小 池 三 枝	
附 属 高 等 学 校 長	前 田 侯 子	
附 属 幼 稚 園 長	島 田 淳 子	
附 属 小 学 校 教 頭	古 市 憲 一	
附 属 中 学 校 教 頭	大 岩 順 子	
附 属 高 等 学 校 教 頭	早 崎 捷 治	
附 属 幼 稚 園 教 頭	榎 田 正 子	

## 附属学校教育研究委員会（附属学校部）

官 職	氏 名	任 期
附 属 学 校 部 長	*尾 田 幸 雄	6.4.1～8.3.31
文教育学部 教 授	酒 本 雅 之	
理 学 部 教 授	柴 田 文 明	
生活科学部 助 教 授	杉 田 孝 夫	
教 育 学 科 教 授	宮 原 修	5.4.1～7.3.31
人間生活学科 教 授	黒 田 淑 子	6.4.1～8.3.31
附 属 小 学 校 長	森 下 はるみ	

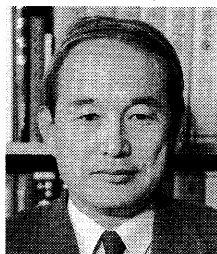
附 属 中学校長	小 池 三 枝	
附 属 高等学校長	前 田 侯 子	
附 属 幼稚園長	島 田 淳 子	
附 属 小学校教頭	古 市 憲 一	
附 属 中学校教頭	大 岩 順 子	
附 属 高 等 学 校 教 頭	早 崎 捷 治	
附 属 幼稚園教頭	榊 田 正 子	
附 属 小学校教諭	上 田 のり子	6.4.1～7.3.31
附 属 小学校教諭	中 村 克 己	6.4.1～8.3.31
附 属 中学校教諭	井 上 泰 次	6.4.1～7.3.31
附 属 中学校教諭	田 中 美也子	6.4.1～8.3.31
附 属 学 校 高 等 学 校 教 諭	大 戸 吉 和	6.4.1～7.3.31
附 属 学 校 高 等 学 校 教 諭	菊 池 美千世	6.4.1～8.3.31
附 属 幼稚園教諭	伊集院 理 子	
附 属 幼稚園教諭	田 中 三保子	6.4.1～7.3.31



## 新任部長紹介

### ○文教育学部長

(任期平成6年10月1日～平成8年9月30日)



氏 名 くぼち けいすけ 窪 添 慶 文  
 生年月日 昭和16年5月26日  
 出身地 高知県  
 専 攻 中国古代史

#### 〔略 歴〕

昭和40年3月 東京大学文学部卒業  
 昭和43年3月 同 大学院人文科学研究科修士課程  
                   修了  
 昭和49年4月 東京大学文学部 助手  
 昭和53年10月 高知大学教育学部 助教授  
 昭和59年4月 同 教授  
 昭和63年4月 お茶の水女子大学文教育学部 教授

#### 〔モットー〕

和而不同 (ただし、屢々、和而動になってしまいます)

#### 〔就任の言葉〕

家政学部が生活科学部への改組、理学部の大講座化に続いて、文教育学部でも教育研究体制の改革を検討中です。これまでの蓄積を継承しつつ、さらに学部内外の皆さんの協力を仰いで、大学院をも含めた研究教育・環境の充実に努めたいと思います。

### ○生活科学部長

(任期平成6年10月1日～平成8年9月30日)



氏 名 こばやし あきお 小 林 彰 夫  
 生年月日 昭和8年11月24日  
 出身地 横浜市 (神奈川県)  
 専 攻 食品化学

#### 〔略 歴〕

昭和31年3月 東京大学農学部農芸化学科卒業  
 昭和33年3月 同 大学院修士課程修了  
 昭和33年6月 東京大学農学部 助手  
 昭和39年6月 お茶の水女子大学家政学部 助教授  
 昭和43年3月 東北大学農学部 助教授  
 昭和53年10月 お茶の水女子大学家政学部 助教授  
 昭和57年4月 同 教授  
 平成2年1月 お茶の水女子大学学生部長  
                   (併任3年12月まで)  
 平成4年10月 お茶の水女子大学生活科学部 教授  
                   (家政学部教授併任)

#### 〔モットー〕

何時、どんな場所でも自らの考えを持っていたい。

#### 〔就任の言葉〕

家政学部が生活科学部になって、丁度、学生数も相半ばしたところです。新しい学部をどう発展させるか、いよいよ正念場にかかったと言えるでしょう。このような時に学部長を務める責任の重さを感じています。更には大学全体の改革も動き出し、問題は山積みしています。

皆様のご協力を切に願う次第です。

# 学 事

## ○平成6年9月卒業式及び学位記授与について

平成6年9月卒業式及び学位記授与式が9月30日（金）大学会議室（生活科学部本館2階）で挙行された。

・卒業者数 (2名)

文教育学部 1名

家政学部 1名

・修了者数 (10名)

修士課程 人文科学研究科 6名

理 学 研 究 科 1名

家政学研究科 2名

博士課程 人間文化研究科 1名

## ○学 位 授 与

(課程修了によるもの)

授与番号	博士の専攻分野の名称	授与年月日	氏 名	本 籍	論 文 題 名
甲第36号	博士(理 学)	平成6年9月30日	鈴木 菜穂	宮 城 県	高等植物の3-deoxy-D-aradino-heptulosonate 7-phosphate合成酵素に関する研究 —培養細胞における色素生成との関連及び酵素タンパク質の精製—

(論文提出によるもの)

授与番号	博士の専攻分野の名称	授与年月日	氏 名	本 籍	論 文 題 名
乙第34号	博士(学 術)	平成6年9月30日	菅 原 悦 子	岩 手 県	大豆加工中の香気形成に関する食品化学的研究
乙第35号	博士(理 学)	平成6年9月30日	平 井 律 子	高 知 県	リソソーム膜糖タンパク質、ヒト1 ampの遺伝子構造と機能に関する研究
乙第36号	博士(人文科学)	平成6年9月30日	田 中 佑 子	埼 玉 県	家族分離が勤労者に及ぼす心理学的影響 —単身赴任の研究—
乙第37号	博士(人文科学)	平成6年9月30日	鄭 夏 美	大韓民国	海保青陵における実学思想の研究 —朴斎家との比較を手掛かりに—

○平成7年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科（修士課程）  
学生募集要項

1. 専攻及び募集人員

専攻名	募集人員	英文学専攻	7
哲学専攻 哲学 倫理学 美学 社会学	8	教育学専攻 教育学 心理学	11
史学専攻 日本史学 東洋史学 西洋史学	7	舞踊教育学専攻 舞踊教育学 遊戯学 動作学 音楽学 演奏学	10
地理学専攻	6		
日本文学専攻	6	※日本語文化専攻	7
中国文学専攻	3	合 計	65

※ 在職社会人の募集は、平成6年10月に実施済み。

2. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成7年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 文部大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (4) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付
- (2) 卒業（又は見込み）証明書
- (3) 推薦書 指導教官又は主任教官等により作成されたもの（形式随意）
- (4) 調査書 用紙は本学で交付
- (5) 健康診断書 用紙は本学で交付
- (6) 写真 正面上半身の名刺型で、出願前3ヵ月以内に撮影したもの  
願書の指定欄に貼付
- (7) 返信用封筒 郵送の場合に限り、宛先を表記し、350円切手を貼付
- (8) 受験承諾書 他大学の大学院に在学中の者は学長又は研究科長の受験承諾書  
在職中の者は所属長の受験承諾書
- (9) 検定料 26,000円

前記書類等を一括し、所定の期日までに本学に提出のこと。ただし、郵送するときは書留速達郵便とし、検定料は郵便為替で、受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記し、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書きすること。

なお、日本語文化専攻を受験する者は次の書類を含めて所定の期日までに本学に提出のこと。

- (10) 研究報告・計画書 大学における卒業論文・卒業研究の内容及び将来の研究計画を3,000字以内にまとめたもの（用紙は本学で交付）

#### 4. 出願期間・願書受付場所

- (1) 出願期間 平成7年1月6日（金）から1月12日（木）までの間。  
ただし、土曜日、日曜日を除く。  
午前 9時から11時30分 午後 1時から3時  
郵送の場合は締切日までの消印有効
- (2) 受付場所 お茶の水女子大学文教育学部事務部  
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号（地下鉄丸ノ内線  
茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅又は都バス大塚二丁目下車）

#### 5. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験（実技を含む）、調査書、健康診断書等（日本語文化専攻にあっては、研究報告・計画書を含む。）の結果を総合して行う。

- (1) 選考期日 平成7年2月1日（水）～2月2日（木）  
※日本語文化専攻のみ 平成7年2月1日（水）～2月3日（金）

## (2) 筆記試験・口述試験時間割

専攻名等		2月1日(水) 筆記試験		2月2日(木)	備考
		外国語 10:00~11:30	専門科目 13:00~15:00	口述試験 10:00~	
哲学専攻	哲学	英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。ただし、中国文学専攻志望者が中国語を、英文学専攻志望者が英語を選択することはない。 (注1)	哲学	(注3)	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。 (注4) なお、地理学専攻にあつては研究計画書(様式自由、800字以内)を必ず提出すること。
	倫理学		倫理学		
	美学		美学		
	社会学		社会学		
史学専攻	日本史学		日本史学		
	東洋史学		東洋史学		
	西洋史学		西洋史学		
地理学専攻			地理学		
日本文学専攻			国文学及び国語学		
中国文学専攻			中国語学及び中国文学		
英文学専攻			英語・英語学及び英米文学		
教育学専攻	教育学		教育学		
	心理学		心理学		
舞踊教育学専攻	舞踊教育学		舞踊学及び論文 論文は志望する専攻 出題の課題を選択する。(注2)	(注3) 舞踊実技を課することがある。	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。 (注4) 論文に代わるものとして演奏を行った者は、卒試曲目を提出すること。
	遊戯学				
	動作学				
	音楽学		西洋音楽史又は 日本音楽史	(注3) 演奏(任意の楽器又は声、曲目は自由)を課することがある。	
			演奏学	(注3) 10分程度の演奏実技(曲目は自由)を課する。	

専攻名	2月1日(水) 筆記試験		2月2日(木) 2月3日(金)	備考
	外国語 10:00~11:30	専門科目 13:00~15:00	口述試験 10:00~	
日本語文化専攻	英・独・仏・ 中国語の中 から1か国 語を選択す る。(注1)	日本語文化学  日本語教育学	主に研究報告・ 計画書、職務 内容報告書 (在職社会人の み)にもとづ いて行う。	

注1. 外国語の選択科目については、出願の際届け出るものとする。

注2. 舞踊教育学専攻(舞踊教育学、遊戯学、動作学)志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文(2,000字程度)を作成する。

注3. 口述試験は、主として志望する専攻又は学士論文について行う。

注4. 学士論文を提出できない事情のある者は、その旨申し出ること。

(3) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

6. 入学料及び授業料 入学料 260,000円 授業料年額 447,600円(改訂予定)

## 7. 合格者発表

平成7年2月9日(木)12時頃、学内に氏名を掲示する。

合格通知書は、文教育学部事務部で受験票を確認のうえ交付する。都合により来学できない合格者には、2月13日(月)に合格通知書を郵送する。

## 8. 注意事項

- (1) 出願書類等の郵送を希望する者は、270円切手を貼った返信用封筒角型2号に宛名を明記したものを同封し、封筒の表に「人文科学研究科出願書類請求」と朱書きして、本学「文教育学部事務部」へ請求すること。
- (2) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の払い戻しは行わない。
- (3) 合格、不合格に関する問い合わせには一切応じない。
- (4) 「外国人留学生」に関しては、出願書類等が異なるため、本学「学生部学務課留学生係」が取扱うので、同係に問い合わせること。

お茶の水女子大学 ☎ 03-3943-3151(代表)

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

## お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修士課程概要

### 1. 目的及び使命

本学大学院は本学の目的、使命に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

### 2. 修業年限 2年

### 3. 専攻及び入学定員

人文科学研究科に次の専攻を置き、入学定員は次のとおりとする。

専攻名	入学定員	総定員	専攻名	入学定員	総定員
哲学専攻	8	16	英文学専攻	7	14
史学専攻	7	14	教育学専攻	11	22
地理学専攻	6	12	舞踊教育学専攻	10	20
日本文学専攻	6	12	日本言語文化専攻	12	24
中国文学専攻	3	6	計	70	140

### 4. 授業科目履修方法及び課程の修了

- (1) 学生は2年以上在学し、それぞれの専攻の授業科目について30単位以上履修しなければならない。

ただし、研究指導を担当する教官が当該学生の研究上特に必要と認めた場合に限り、他の専攻、他研究科又は学部の授業科目を指定して履修させ、これを当該専攻の単位とすることができる。

- (2) 課程の修了には、2年以上在学し、所要の単位を修得し、かつ学位論文を提出して最終試験に合格しなければならない。

### 5. 学位授与

本研究科において、課程を修了した者に対しては、修士（人文科学）の学位を授与する。

## 6. 主要授業科目・担当教官

専攻	授 業 科 目	担 当 教 官
哲学専攻	哲 学 特 論 ・ 演 習 倫 理 学 特 論 ・ 演 習 美 学 特 論 ・ 演 習 社 会 学 特 論 ・ 演 習	教 助 教 授 土 屋 賢 二 教 助 教 授 入 佐 和 子 教 助 教 授 田 幸 雄 教 助 教 授 島 元 洋 教 助 教 授 山 佐 保 子 教 助 教 授 本 光 文 教 助 教 授 坂 佳 鶴 恵 (未 定)
史学専攻	日 本 史 学 特 論 ・ 演 習 東 洋 史 学 特 論 ・ 演 習 西 洋 史 学 特 論 ・ 演 習	教 助 教 授 大 口 勇 次 郎 教 助 教 授 安 田 秀 雅 教 助 教 授 小 風 津 子 教 助 教 授 西 澤 奈 文 教 助 教 授 窪 添 徹 教 助 教 授 三 浦 行 教 助 教 授 山 本 躬 教 助 教 授 延 新 秀 忠 夫 講 師 由 紀
地理学専攻	人 文 地 理 学 特 論 ・ 演 習 自 然 地 理 学 特 論 ・ 演 習 地 誌 学 特 論 ・ 演 習	教 助 教 授 千 歳 一 教 助 教 授 栗 原 尚 賢 教 助 教 授 内 田 忠 兵 教 助 教 授 田 宮 衛 教 助 教 授 杉 谷 隆 教 助 教 授 内 藤 夫 教 助 教 授 熊 谷 知
日本文学専攻	上 代 文 学 特 論 ・ 演 習 中 古 文 学 特 論 ・ 演 習 中 世 文 学 特 論 ・ 演 習 近 代 文 学 特 論 ・ 演 習 現 代 文 学 特 論 ・ 演 習 国 語 学 特 論 ・ 演 習	助 教 授 岩 崎 千 鶴 教 助 教 授 平 野 由 紀 教 助 教 授 三 木 紀 教 助 教 授 市 古 夏 教 助 教 授 浅 井 常 教 助 教 授 大 塚 清 教 助 教 授 鈴 木 樹 教 助 教 授 古 田 泰 教 助 教 授 大 田 啓
中国文学専攻	中 国 文 学 特 論 ・ 演 習 中 国 語 学 特 論 ・ 演 習	教 助 教 授 佐 藤 保 教 助 教 授 宮 尾 樹 教 助 教 授 藤 山 子 教 助 教 授 相 原 茂 教 助 教 授 正 和
英文学専攻	英 文 学 特 論 ・ 演 習 米 文 学 特 論 ・ 演 習 英 語 学 特 論 ・ 演 習	教 助 教 授 野 島 秀 勝 教 助 教 授 内 田 正 子 教 助 教 授 酒 本 雅 教 助 教 授 海 老 根 静 教 助 教 授 宮 西 幸 教 助 教 授 西 尾 道 教 助 教 授 西 尾 定 (未 定)



専攻	授 業 科 目										担 当 教 官			
教育学専攻	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
		教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
心理学	心 理 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
		教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 育 学	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
舞踊教育学専攻	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
		舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	舞 踊	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
音楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
		音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	音 楽	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
日本語文化専攻	日 本 語 文 化	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
		日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	日 本 語	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
関連科目	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子
		独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	独 仏 文 学	教 助 教	授 授 授 授 授 授 授 授	上 野 浩 道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子	道 武 明 夫 修 剛 行 子 砂 子

## ○海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種目
文 教 育 学 部 ・ 教 授	土 屋 賢 二	連 合 王 国	文部省在外研究	6.9.1～ 7.6.30 (帰国予定)	外国出張
生 活 科 学 部 ・ 教 授	田 中 辰 明	大 韓 民 国	J I C A派遣による韓国科学技 術研究員 ( K I S T ) との技術 交流	6.9.15～ 6.9.30	外国出張
女性文化研究 センター・教授	原 ひろ子	タ イ 王 国	(国際学術研究)「開発過程に おける女性の主体的参加ーライ フコース・家族・労働」	6.10.5～ 6.10.19	外国出張
理学部・助教授	出 口 哲 生	大 韓 民 国	低次元の場の量子論とその応用 の共同研究の打合せのため	6.10.7～ 6.10.27	外国出張
理学部・助教授	林 正 男	オーストラリア	「第2回アジア太平洋細胞生物 学」国際会議出席と資料収集	6.10.15～ 6.10.24	外国出張
生活環境研究 センター・教授	五十嵐 脩	マ レ ー シ ア	UNESCO/COSTAM栄養・脂 質・健康と疾病についての S F R Rーアジア・ワークショップ にて講演のため	6.8.30～ 6.9.4	海外研修
女性文化研究 センター・教授	原 ひろ子	エジプト・アラブ共和国	人口と開発に関する国際会議出 席	6.8.31～ 6.9.10	海外研修
理学部・講師	小木曾 啓 示	ドイツ連邦共和国	バイロイト大学において共同研 究	6.9.1～ 6.9.30	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	石 黒 節 子	中華人民共和国	舞踊公演及び北京大学・国立北 京舞踊学院との交流	6.9.4～ 6.9.9	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	水 谷 信 子	台 湾	日本語教育研修会で講義	6.9.9～ 6.9.12	海外研修
女性文化研究 センター・教授	原 ひろ子	ドイツ連邦共和国	シンポジウム「学びの文化」に て講演	6.9.10～ 6.9.18	海外研修
生 活 科 学 部 ・ 教 授	板 倉 壽 郎	アメリカ合衆国	マサチューセッツ工科大学高等 視覚研究所におけるイベント に参加及び現代芸術についての 資料収集	6.9.27～ 6.10.7	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 助 教 授	羽入 佐和子	オーストリア共和国	国際ヤスパース会議出席	6.9.28～ 6.10.3	海外研修

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種目
理学部・教授	石 和 貞 男	フランス共和国	第5回ヨーロッパ・ショウジョウバエ神経生物学会出席	6.9.30～ 6.10.7	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 助 教 授	坂 本 佳 鶴 恵	アメリカ合衆国 カ ナ ダ	シカゴ大学オンタリオ教育研究所のセミナーに出席及び資料収集	6.9.30～ 6.10.26	海外研修
生活環境研究 センター・教授	五十嵐 脩	連 合 王 国 ・ デンマーク王国・ ドイツ連邦共和国、 他	「抗酸化ビタミンとβカロチンの疾病予防について」の国際会議出席及び連合王国等での資料収集	6.10.4～ 6.10.16	海外研修
理学部・教授	馬 場 昭 次	オーストラリア	比較精子学国際シンポジウムに出席・研究発表	6.10.8～ 6.10.16	海外研修
附 属 中 学 校 ・ 教 諭	木 村 真 冬	オーストラリア	豪日交流基金 TEACHERS'KIT 委員会のオーストラリアでの会合に参加するため	6.10.8～ 6.10.16	海外研修
理学部・教授	細 矢 治 夫	中華人民共和国	第3回中日理論化学シンポジウム参加・発表	6.10.9～ 6.10.16	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	徳 丸 吉 彦	アメリカ合衆国	民族音楽学会出席及び資料収集	6.10.20～ 6.10.26	海外研修
生 活 科 学 部 ・ 教 授	袖 井 孝 子	アメリカ合衆国	MIT（マサチューセッツ）における講義及びUCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）における資料収集	6.10.23～ 6.10.31	海外研修

## ○研 修

名 称	実 施 日 時	対 象 者	修 了 者	主 催
第45回文部省会計事務 特別研修	平成6年 9月19日～ 10月7日	現在会計事務に従事し、 かつ、1年以上会計事 務の経験を有する者又 はそれに相当する者で、 原則として25歳以上30 歳以下の者	会計課・司計係 主任 岩田 光夫	文部省
平成6年度関東・甲信越 地区国立学校等係長研修	平成6年 9月27日～ 9月30日	① 係長又は係長相当 の職にある者 ② 年齢50歳以下の者 ③ 勤務成績が優秀な 者	会計課・給与係長 佐野 公子 施設課・企画係長 柴田 正造	文部省及び 東京大学・ 千葉大学
第59回関東地区中堅係員 研修	平成6年 10月3日～ 10月7日	ア 国家公務員採用Ⅲ 種試験により採用さ れ、採用後おおむね 8年の経験を有する 者及び国家公務員採 用Ⅱ種試験により採 用され、採用後おお むね3年の経験を有 する者並びにこれら と同等と認められる 者 イ 本年度4月1日現 在30歳未満の者 ウ 勤務成績が優秀な 者	生活科学部 総務係員 溝井 明人	人事院 関東事務局
平成6年度関東甲信越地区 国立学校 事務電算化担当職員研修 Bコース (システム設計コース)	平成6年 10月17日～ 10月21日	国立学校事務電算化担 当職員研修Aコースを 受講した者または、プ ログラミングの実務経 験が1年以上で、事務 の電算処理を担当する 職員	会計課・給与係員 鈴木 実	文部省及び 東京大学
平成6年度 放射同位元素等取扱施設 教職員研修	平成6年 10月20日～ 10月21日	各放射性同位元素等取 扱施設における放射線 安全管理担当教職員	理学部 古田 悦子	文部省及び 東北大学
第29回関東甲信越地区 国立大学等 会計事務職員研修会	平成6年 10月24日～ 10月28日	現在会計事務に従事し、 かつ1年以上の会計事 務経験を有する者	会計課・出納係長 近本 政明 会計課・用度係 主任 吉原 道隆	文部省及び 新潟大学

名 称	実 施 日 時	対 象 者	修 了 者	主 催
平成 6 年度 文部省施設担当職員研修会	平成 6 年 10月24日～ 10月28日	① 各国立学校等に所 属する者 ② 中堅（30～40歳） の施設担当職員 ③ 本研修未受講の者 30歳以上40歳以下の者	施設課・施設係員 八重怪 博	文部省
平成 6 年度関東甲信越地区 国立学校事務電算化担当職 員研修 A コース （プログラミングコース）	平成 6 年 10月24日～ 11月 1 日	関東 A 地区及び関東 C 地区で事務電算化を担 当する職員	会計課・出納係員 丸山 彰英 会計課・用度係員 斎藤 太一 施設課・企画係員 宮内 朝彦	文部省及び 東京工業大学

## ○健康診断

事 項	実 施 日 時	対 象 者	受診者数	実 施 場 所
職員特別定期健康診断 （第 1 回）	平成 6 年 9 月 20 日	自動車運転手	3 人	保健管理 センター
職員定期健康診断（第 1 回）	平成 6 年 10 月 4 日・5 日	全職員。ただし、前回又は 人間ドックの受診者及び遠隔 地勤務者を除く。 本年度は、肝機能検査を同 日に実施した他、胃部検査を ペプシノーゲンによる血液検 査方式として試行実施した。	1 7 2 人	保健管理 センター

# 日 誌

## ◇諸会議

- 9月2日(金) 事務連絡会議、東京地区国公立大学  
厚生補導部課長会議(於・ホテルマ  
リナーズコート東京)
- 7日(水) 将来構想検討委員会
- 8日(木) 研究科会議、組換えDNA実験安全  
委員会、国際交流委員会留学生専門  
委員会
- 9日(金) 学生委員会、国立大学等経理部課長  
会議(於・東京医科歯科大学)
- 12日(月) 情報処理センター運営委員会、理学  
部ラジオアイソトープ実験室運営委員会
- 13日(火) 部局長会議、国際交流委員会、附属  
学校委員会、主任会議(3学部)
- 14日(水) 教授会(3学部)、カリキュラム委  
員会総合コース小委員会
- 27日(火) 部局長会議、自己点検・評価検討委  
員会
- 28日(水) 将来構想検討委員会、研究科会議、  
大学院問題検討特別委員会、カリキュ  
ラム委員会、附属学校教育研究委員会
- 29日(木) 評議会
- 30日(金) 学生委員会
- 10月5日(水) 施設計画委員会
- 6日(木) 国立16大学学長懇話会(～7日 於・  
帯広畜産大学)、関プロ施設部課長  
会議(～7日 於・信州大学)、国  
立大学LOOKS-U ユーザー図書館連  
絡会(～7日 於・群馬大学)
- 7日(金) 事務連絡会議
- 11日(火) 入学者選抜方法研究委員会、国際交  
流委員会留学生専門委員会
- 12日(水) 大学院問題検討特別委員会小委員会、  
国立大学理学系学長会議(～13日  
於・信州大学)
- 13日(木) 附属図書館運営委員会、第15回全国  
国立大学学生部長協議会(～14日

於・弘前大学)

- 14日(金) 関プロ学長会議(於・如水会館)
- 17日(月) 入学試験委員会
- 18日(火) 部局長会議、自己点検・評価検討委  
員会、主任会議(3学部)
- 20日(木) 関プロ庶務部課長会議(～21日 於・  
高エネ研)、国立22大学理学部学長会  
議(於・竹橋会館)
- 21日(金) 全国理学部学長会議(於・竹橋会館)
- 25日(火) 部局長会議
- 26日(水) 評議会、カリキュラム委員会、附属  
学校教育研究委員会

## ◇行事等

- 8月29日(月) 大学院人間文化研究科願書受付(～  
9月2日)
- 9月3日(土) 公開講座
- 6日(火) 大学院理学研究科入学試験(～7日)、  
大学院家政学研究科入学試験
- 10日(土) 公開講座
- 14日(水) 次期附属図書館長候補者選挙、日本  
語・日本文化研修留学生修了式、教  
育実習説明会
- 16日(金) 理学研究科、家政学研究科合格発表
- 17日(土) 公開講座
- 19日(月) 人間文化研究科入学試験(～21日)
- 20日(火) 特別定期健康診断
- 24日(土) 公開講座
- 27日(火) 留学生見学旅行
- 30日(金) 卒業式・学位記授与式
- 10月1日(土) 公開講座
- 4日(火) 職員一般定期健康診断(～5日)
- 6日(木) 官公需問題懇談会
- 12日(水) 人文科学研究科(社会人)入学試験  
(～14日)
- 19日(水) 留学生オリエンテーション
- 20日(木) 人文科学研究科(社会人)合格発表
- 22日(土) 公開講座